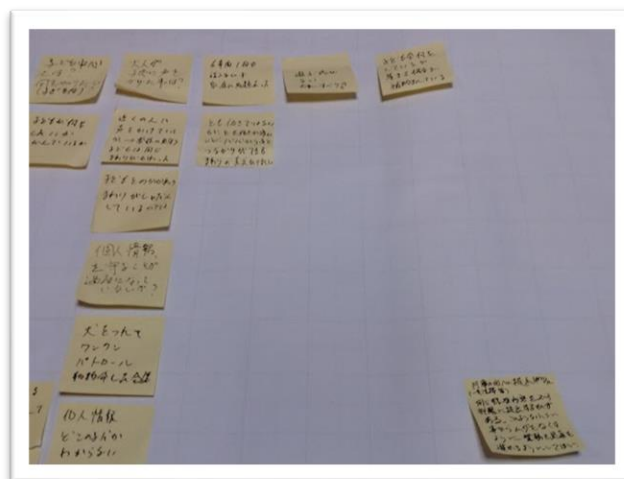
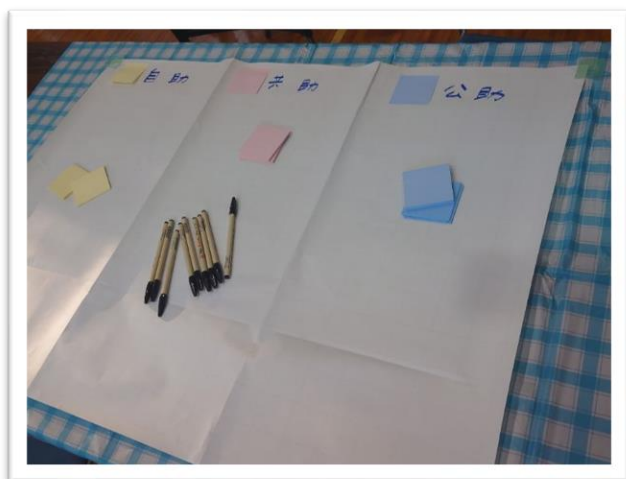


令和6・7年度

市民と議会をつなぐ会

実施報告書



令和7年2月17日・5月27日・6月30日

7月5日・10月3日・11月12日開催

発行：令和8年3月 北上市議会

～はじめに～

北上市議会では例年、議会の活動を知ってもらうとともに、市民の皆様の御意見を広く伺い、市政に反映させていく目的から、「市民と議会をつなぐ会」として、議会から活動などの紹介および市民の皆様との意見交換会を行っています。

令和6年度及び7年度は開催希望地区にて実施することとし、地域へのヒアリング（以下、地域ヒアリング）を通じ、各地区と調整の上、6地区で市民と議会をつなぐ会を開催しました。

市民と議会をつなぐ会では最初に、ここ数年における議会での取り組みの内容を報告し、その後、市民の皆さんと議員のグループを作り、地区ごとのテーマに沿って意見の聞き取りを行いました。

この報告書では、

- ・会の開催状況
- ・参加者の構成比とアンケートの集計結果
- ・会当日の配布資料
- ・地域ヒアリング及びつなぐ会のワークショップでいただいたご意見など

を御報告します。

目次

1	開催状況	1
2	参加者の構成比とアンケートの集計結果	2
	(1) 参加者の構成比	2
	(2) アンケートの集計結果	3
3	当日の会場で配布した資料	8
4	いただいたご意見について	9
	(1) 相去地区	11
	(2) 黒沢尻北地区	14
	(3) 黒岩地区	19
	(4) 飯豊地区	21
	(5) 口内地区	24
	(6) 岩崎地区	26
	(7) つなぐ会開催地区以外	28
	(8) 地域ヒアリング：その他意見について	42
	(9) つなぐ会：その他意見について	48

1 開催状況

次の日程および編成で実施しました。

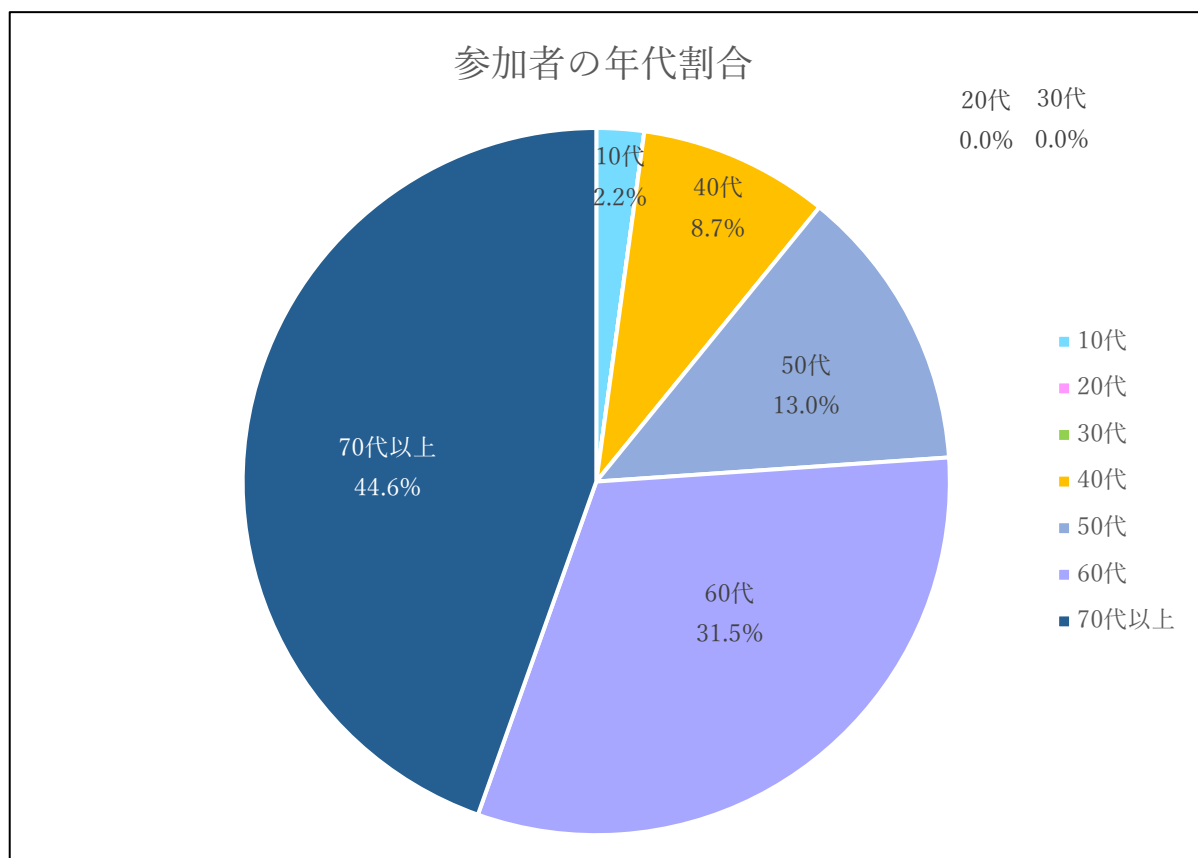
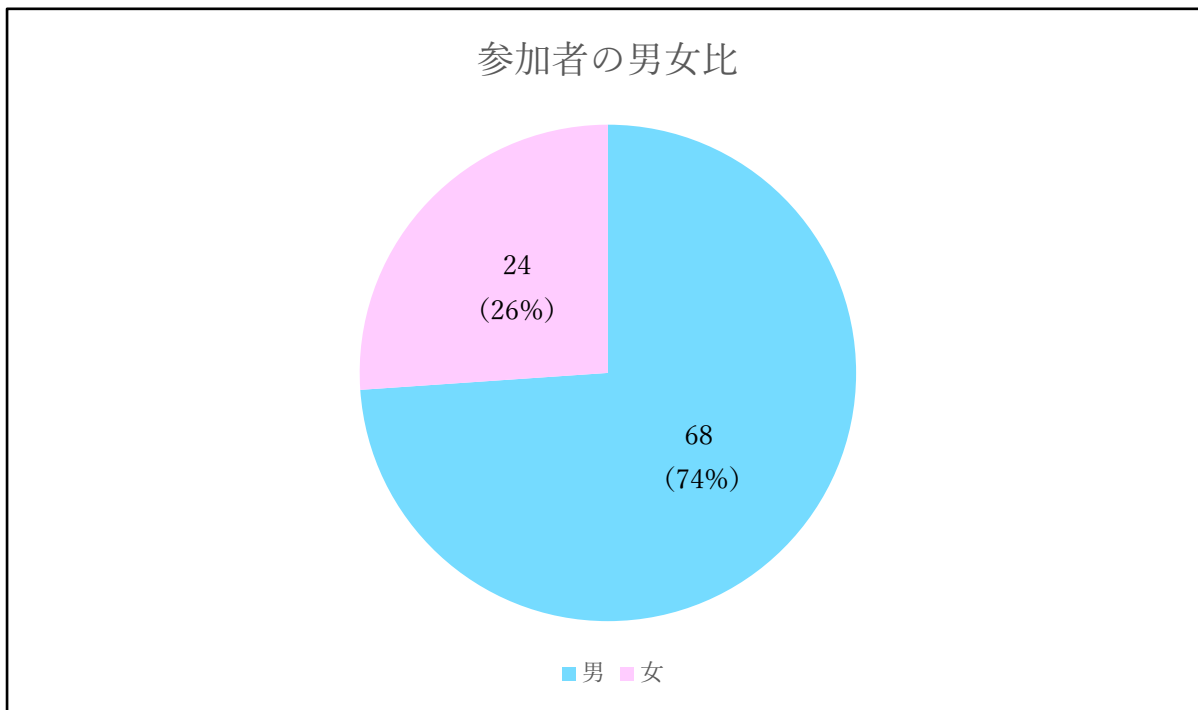
開催日	時間	会場 (各地区交流 センター)	テーマ	担当班	参加者
2/17 (月)	18:30~	相去	子ども・子育てについて	1班	23人
5/27 (火)	18:30~	黒沢尻北	安心・安全の地域づくり	1班	16人
6/30 (月)	18:30~	黒岩	自分も子どもも、黒岩に住み続けたいと思えるには	3班	17人
7/5 (土)	14:00~	飯豊	子どもたちが安心して育つ地域を考えよう	4班	8人
10/3 (金)	18:30~	口内	住みたいまち、住みよいまち口内を考えよう	4班	12人
11/12 (水)	18:30~	岩崎	岩崎地域における学校のあり方を考えよう ○未来を創る子どもたちにとって、より良い教育環境とはなんだろうか？ ○岩崎地区の学校のあり方や目指す姿はなんだろうか？	2班	16人

班構成

1班	2班	3班	4班
藤原 慶	八重樫 民徳	白鳥 顕志	田島 清美
千田 優子	太田 洋市	齊藤 金浩	原 利光
居駒 勉	藤原 常雄	佐々木 護	高橋 晃大
平野 明紀	熊谷 浩紀	高橋 久美子	小田島 徳幸
佐藤 恵子	梅木 忍	藤田 民生	小原 享子
高橋 孝二	安徳 壽美子	阿部 眞希男	三宅 靖
	菊池 勝	星 敦子	

2 参加者の構成比とアンケートの集計結果

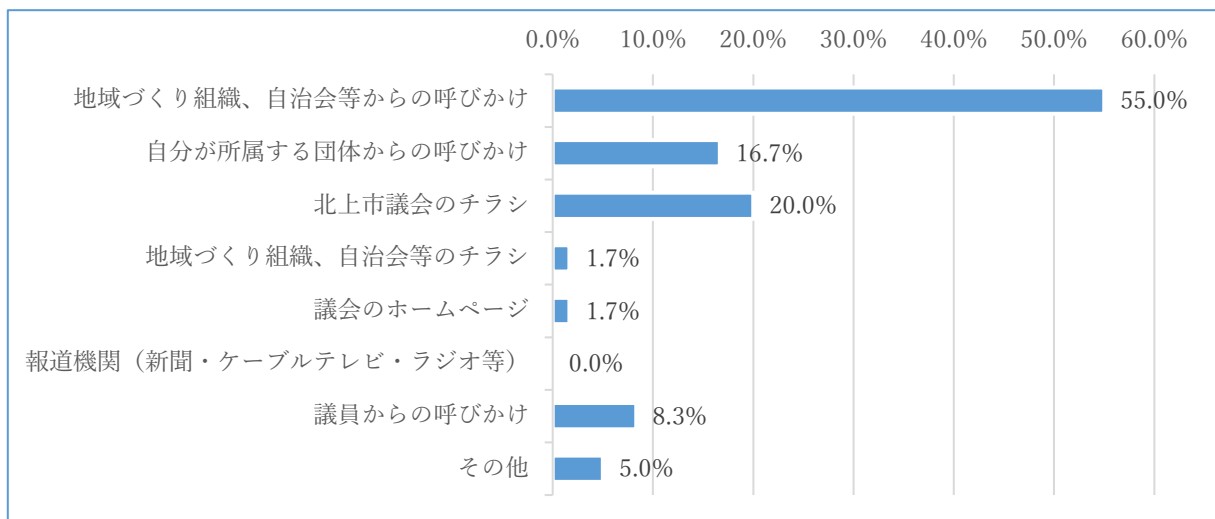
(1) 参加者の構成比



(2) アンケートの集計結果

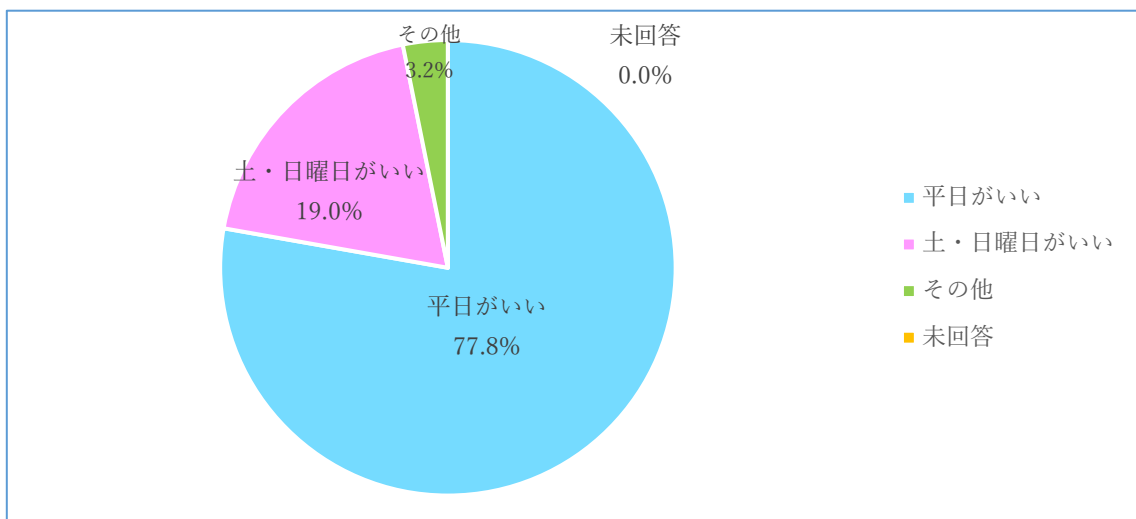
Q 1 参加のきっかけ（複数回答）

地域づくり組織、自治会等からの呼びかけ	自分が所属する団体からの呼びかけ	北上市議会のチラシ	地域づくり組織、自治会等のチラシ	議会のホームページ	報道機関（新聞・ケーブルテレビ・ラジオ等）	議員からの呼びかけ	その他
33	10	12	1	1	0	5	3
55.0%	16.7%	20.0%	1.7%	1.7%	0.0%	8.3%	5.0%



Q 2 開催曜日について

平日がいい	土・日曜日がいい	その他	未回答	合計
49	12	2	0	63
77.8%	19.0%	3.2%	0.0%	100%

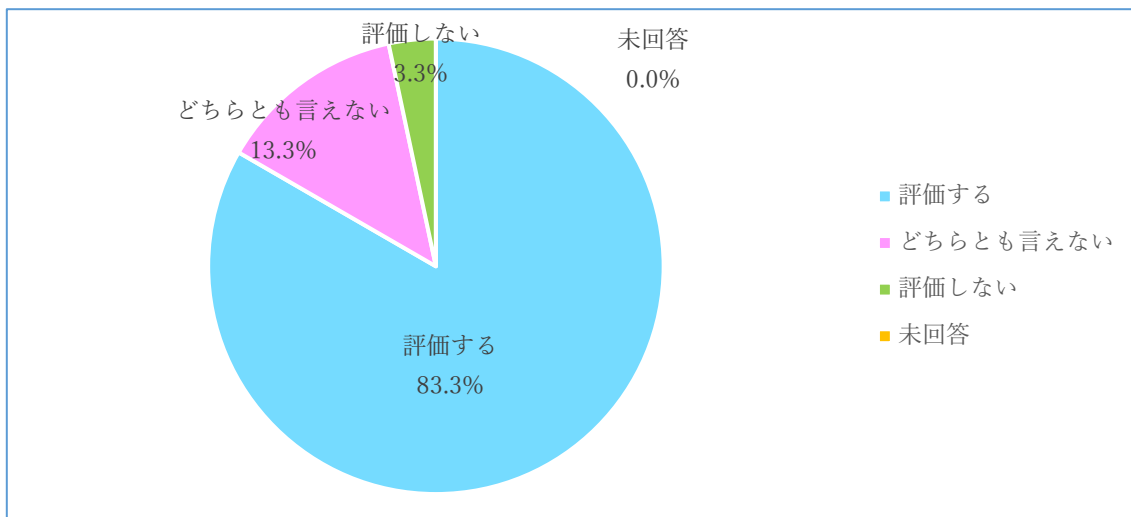


<「その他」の記載>

- ・どちらでもよい
- ・特にいつでも

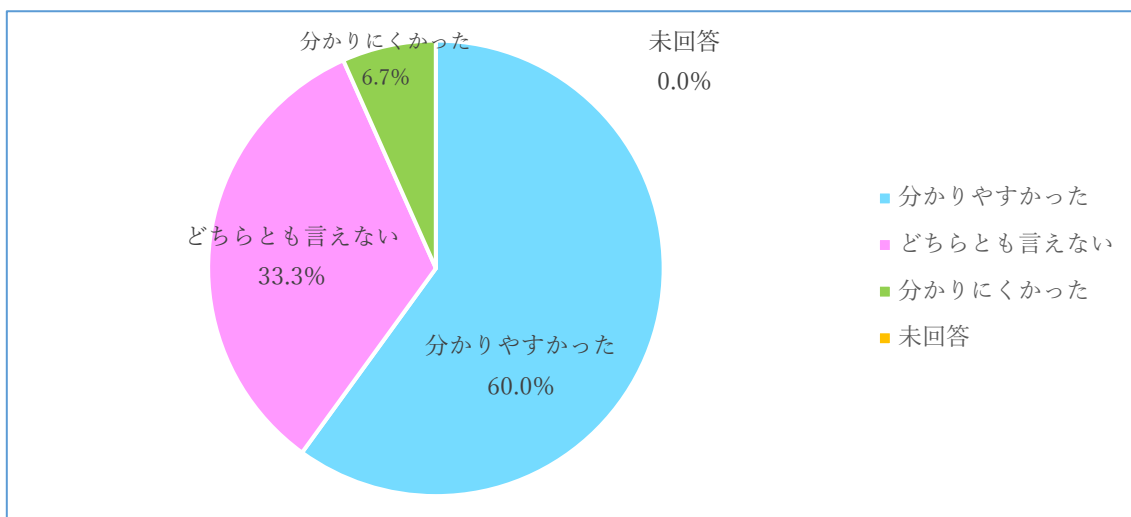
Q 3 開催したことの評価

評価する	どちらとも言えない	評価しない	未回答	合計
50	8	2	0	60
83.3%	13.3%	3.3%	0.0%	100%



Q 4 説明について

分かりやすかった	どちらとも言えない	分かりにくかった	未回答	合計
36	20	4	0	60
60.0%	33.3%	6.7%	0.0%	100%

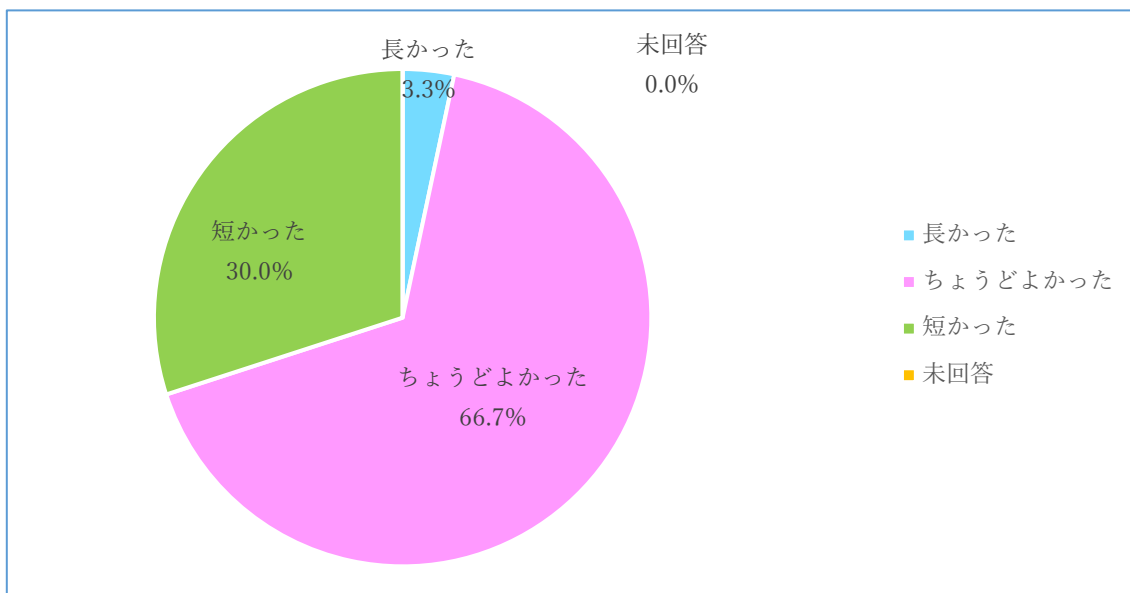


< 「分かりにくかった」の具体的な記載 >

- ・内容が大雑把すぎる
- ・前段の説明があまりに長い
- ・もう少し時間がほしい

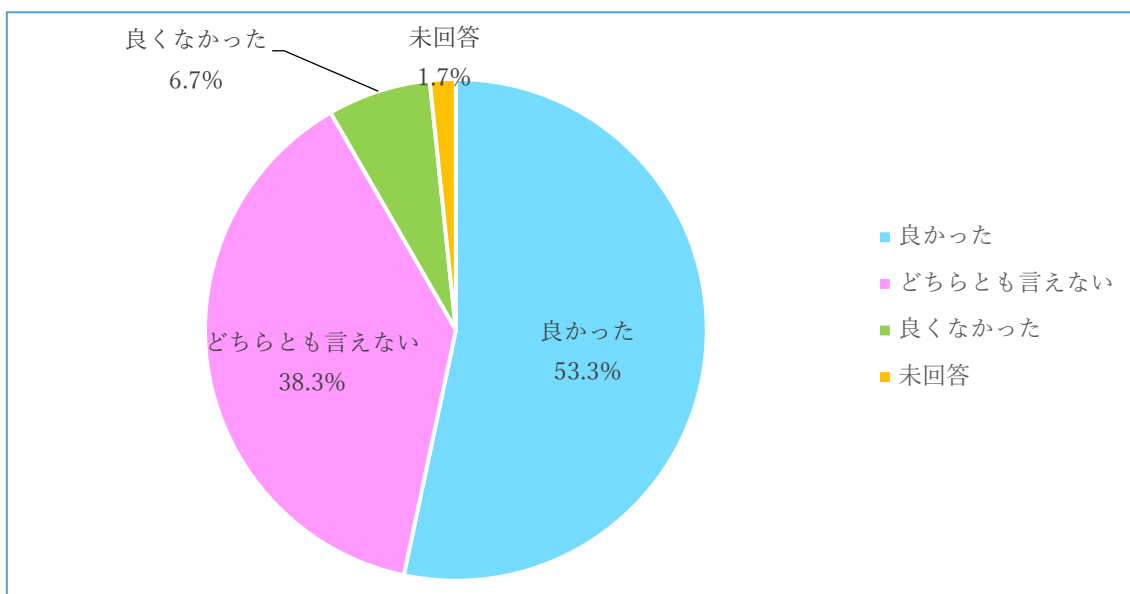
Q 5 時間について

長かった	ちょうどよかった	短かった	未回答	合計
2	40	18	0	60
3.3%	66.7%	30.0%	0.0%	100%



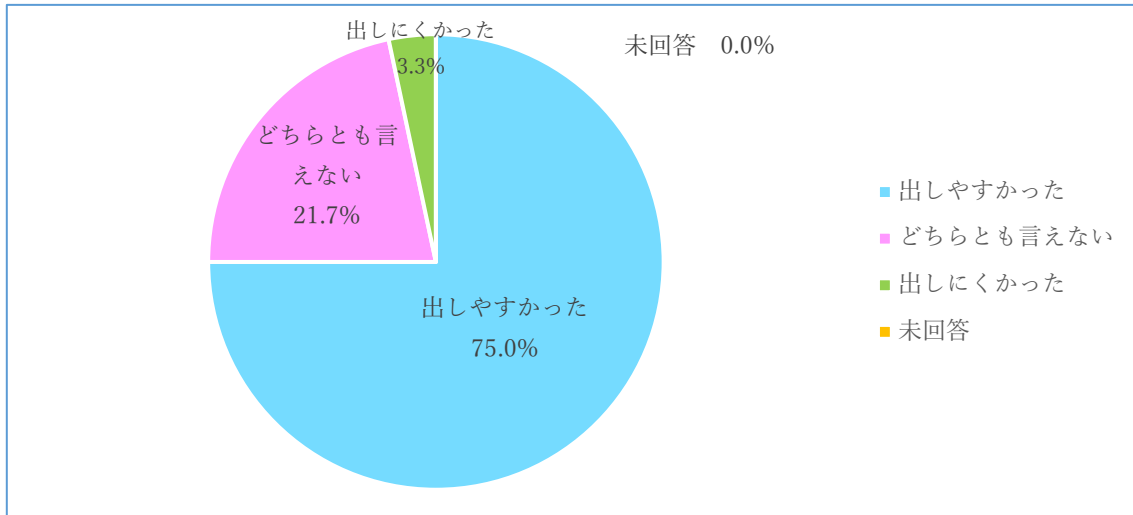
Q 6 意見交換のテーマについて

良かった	どちらとも言えない	良くなかった	未回答	合計
32	23	4	1	60
53.3%	38.3%	6.7%	1.7%	100%



Q 7 意見交換の意見について

出しやすかった	どちらとも言えない	出しにくかった	未回答	合計
45	13	2	0	60
75.0%	21.7%	3.3%	0.0%	100%

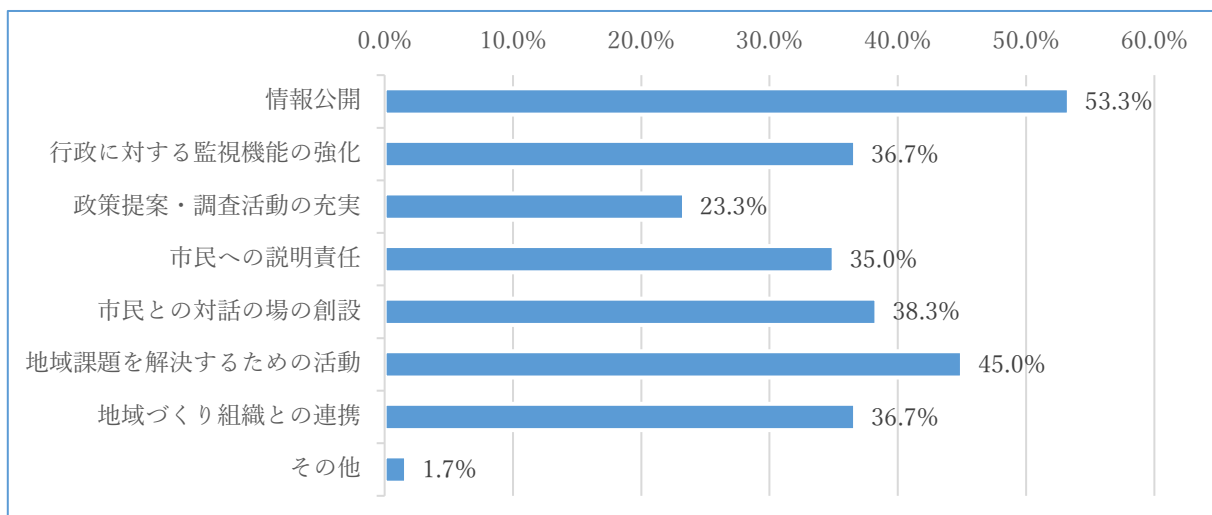


<「出しにくかった」の具体的な記載>

- ・時間が短すぎる

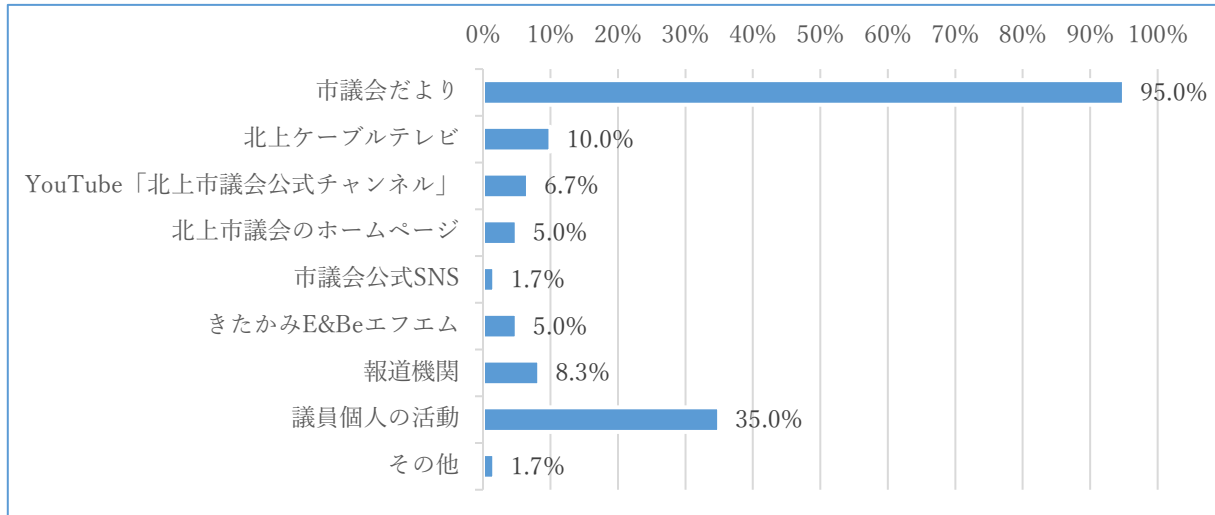
Q 8 議会や議員に期待すること（複数回答）

情報公開	行政に対する監視機能の強化	政策提案・調査活動の充実	市民への説明責任	市民との対話の場の創設	地域課題を解決するための活動	地域づくり組織との連携	その他
32	22	14	21	23	27	22	1
53.3%	36.7%	23.3%	35.0%	38.3%	45.0%	36.7%	1.7%



Q 9 議会の情報を何から得ているか（複数回答）

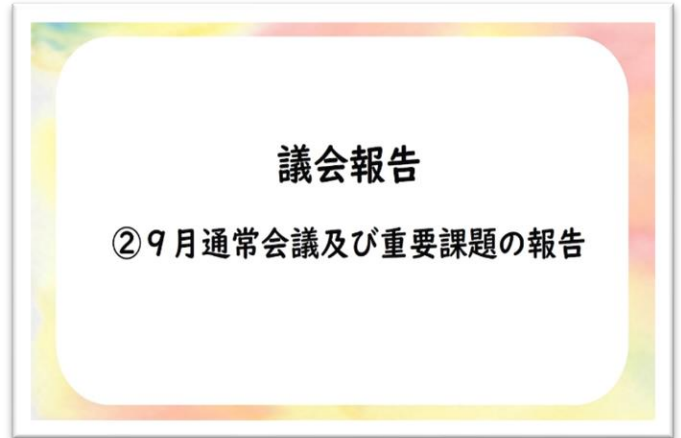
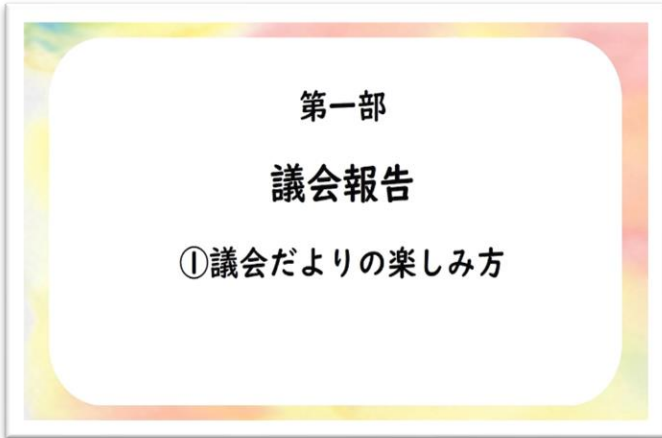
市議会 だより	北上ケーブ ルテレビ	YouTube「北 上市議会公式 チャンネル」	北上市議会 のホームペ ージ	市議会公 式 SNS	きたかみ E&Be エフエム	報道機関	議員個人の 活動	その他
57	6	4	3	1	3	5	21	1
95.0%	10.0%	6.7%	5.0%	1.7%	5.0%	8.3%	35.0%	1.7%



3 当日の会場で配布した資料

市民の皆さんに、紙面を刷新した議会だよりについて、議会での取り組み状況などを議員が報告しました。

資料は以下のようなものを使用し、報告しました。（資料は一部抜粋です）



紙面を刷新した北上市議会だより

- ・新しかったポイント
- ・重要課題

について簡単にご説明します😊

令和6年度決算

歳入は前年度比18億5,030万円 3.9%の増

歳出は前年度比17億4,598万円 8.4%の減

市税は前年度比17億4,598万円 8.4%の減

市債は前年度比14億650万円 50.1%の増

議員自作の4コママンガ

注目の市民活動を議員が取材し、記事に

ちょっとブレイク! vol.6

地域に根ざし、共に備える企業へ

議会としての新たな取り組み

議会からの意見

令和8年度予算編成に向けて 決算特別委員会からの意見を付けました

意見が出された事業一覧

- ・男女共同参画・多様性社会推進事業
- ・こども計画策定事業
- ・親元就業支援事業
- ・人口減少地域地域拠点形成住宅取得支援事業補助金
- ・教え合い自習スペース創出事業
- ・地域学校協働本部設置事業

4 いただいたご意見について

次ページからは、地域ヒアリング及び市民と議会をつなぐ会の中で出たご意見を地区ごとに紹介します。

頂いたご意見を広聴委員会で確認し、市や議会へ対応してほしいことのうち、既に議会での審議や常任委員会での調査研究などが行われているものについて、常任委員会からの回答を記載させていただきました。

また、上記以外の意見についても、多くの貴重なご意見があり、議会として状況を把握させていただきますので、その他の意見として各地区ごとに掲載させていただきます。

(※ いただいた意見のまま掲載しています。)

【 担当常任委員会について 】

いただいたご意見に対し各委員会からの回答を掲載しておりますが、各委員会の所管は以下のとおりとなります。

総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業環境常任委員会
議会の所管する事項	福祉部の所管する事項	生活環境部の所管する事項
企画部の所管する事項 (担当課：政策企画課、総務課、都市プロモーション課、危機管理課)	(担当課：国保年金課、地域福祉課、障がい福祉課、長寿介護課)	(担当課：市民課、環境政策課)
財務部の所管する事項 (担当課：財政課、資産経営課、市民税課、資産税課、収納課)	健康子ども部の所管する事項 (担当課：健康づくり課、子育て支援課、こども家庭センター)	農林部の所管する事項 (担当課：農林企画課、農業振興課)
まちづくり部の所管する事項 (担当課：地域づくり課、生涯学習文化課、スポーツ推進課)	教育委員会の所管する事項 (担当課：教育部総務課、学校教育課、文化財課、給食センター、中央図書館、博物館、鬼の館)	商工部の所管する事項 (担当課：商業観光課、産業雇用支援課、企業立地課)
選挙管理委員会の所管する事項		都市整備部の所管する事項 (担当課：道路環境課、都市計画課、下水道課、都市再生推進課)
監査委員の所管する事項		農業委員会の所管する事項
会計課の所管する事項		

【意見交換の方法】

つなぐ会での意見交換は、ワークショップ方式により次の手順で行いました。

〈ワークショップ形式による意見の聞き取りの方法〉

市民の皆さん数名、議員 1～2 名でひとつのグループを作ります。

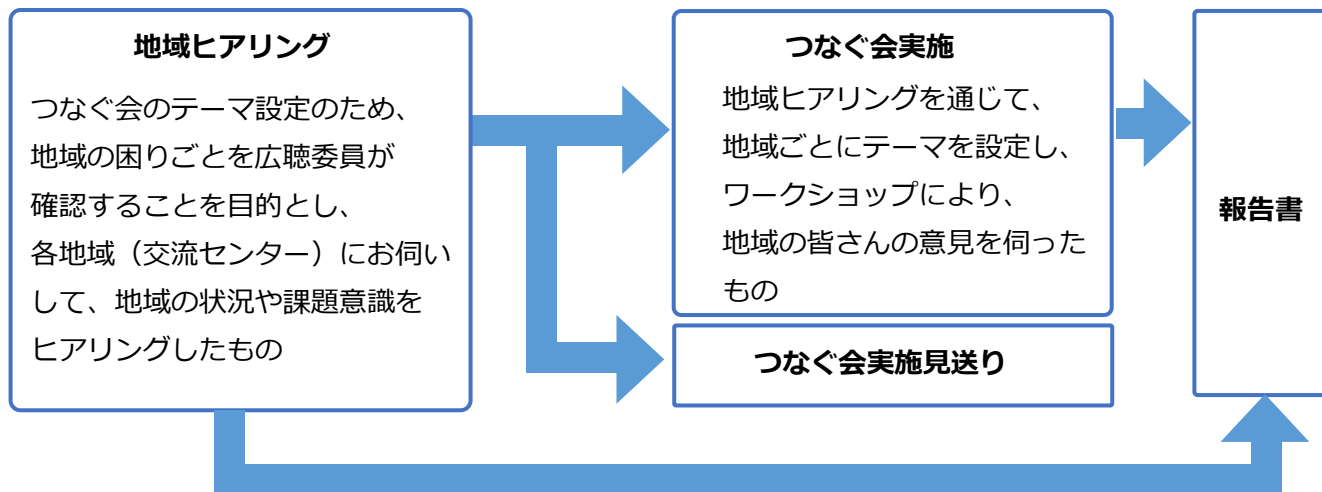
各自の意見の発表は、配布された付せん紙に記入のうえ行い、テーブル上の模造紙に貼り付けテーブル内で共有します。

テーマごとの意見交換終了後、フリートークとして市政・議会・議員にいたいことをテーブルごとに行う。

【地域ヒアリングとは】

令和 6 年度及び 7 年度の市民と議会をつなぐ会は、地域に応じたテーマ設定を行うため、あらかじめ広聴委員が各地域（交流センター）に赴き、開催意向や地域の困りごと等を確認するためのヒアリングを実施しました。

地域ヒアリング～つなぐ会～報告書作成までのイメージ



地域ヒアリングで頂いたご意見は、その後につなぐ会のテーマ設定に活かされたほか、要望に該当するもののうち、既に議会での審議や常任委員会での調査研究などが行われているものについて、常任委員会からの回答を付して報告書に掲載しております。

また、上記以外の意見についても貴重なご意見として議会で共有させていただくとともに、その他の意見として報告書にも掲載させていただいております。

つなぐ会開催地域からのご意見に対する常任委員会からの回答

【相去地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
・指定管理料が必要と感じている	物価高で賃上げが必要。変動の大きいことを考えると、5年ごとの賃上げではなく、毎年ごとの見直しすべき。		総務	令和7年度予算審査において当局からは、交流センター職員のモデル賃金を示し、人件費を増額したとの説明がありました。毎年ごとの見直しについて、引き続き予算審査等の際の有力な視点として注視していきます。

※その他の意見は P46～掲載しています。

<つなぐ会 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
地域で役員のなり手がいない。定年延長によって担い手の高齢化、自治会に交わらない人もあり、いろいろな役の人を探すのが厳しい。役をしほれないか。民生委員は、福祉課に聞きに行ったが、なり手がいない。市の回答もない。お願いするだけでは見つからない。誰もいなければ、自分がやるしかない。他の役職もみんなそう。そんなやり方はしこりが残る。	市から依頼される役を絞れないか		総務	令和7年度6月通常会議の一般質問において居駒勉議員が区長制度が廃止されたことに伴う自治会長への負担増について言及し、当局からは、「自治会長の負担増にならないよう市からの依頼事項は整理していく」との答弁がありました。令和7年度の市の重要課題では「持続可能な自治会活動支援」を掲げ、自治会へのヒアリングや現状分析、対策の検討を進めていることから、その進捗とともに市からの依頼事項の整理状況や自治会の負担減に係る対応策についても常任委員会で注視していきます。
役員は持ち回りで誰でもできる仕事にすればやりやすくなるのではないか。交通と防犯を一緒にするとか、似たような仕事が集約できないか。民生委員は持ち回りでできるような仕事ではない。	役員の業務の簡略化や集約化		総務	
民生委員の業務範囲が広く、悪いイメージが残っているため、なり手不足となっているのではないか	イメージの払拭・説明等		教育民生	決算審査において、民生委員の定数が212人となっていて、推薦されているのが189名(8月18日現在)であると回答がありました。イメージの払拭等に関するご意見については、今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
子どもを遊ばせたいときは和賀川ふれあい広場やhoKkoに行くが、もっと近くにも子どもの遊び場を整備してほしい	子どもの遊び場を増やしてほしい		教育民生	ご意見ありがとうございます。今後も市民の皆さまからの意見については、つなぐ会等において聴取し、議会審議の参考とさせていただきます。
子どもたちの意見や保護者の意見を聞く機会をもっと設けてほしい	子どもたちの意見や保護者の意見を聞く機会をもっと設けてほしい		教育民生	今年度、北上市こども計画が策定されました。 また、教育民生常任委員会において、子どもに関する政策提言の作成を昨年度から進めております。今後も市民の皆さまからの意見については、つなぐ会等において聴取し、議会審議の参考とさせていただきます。
日香下、大谷地、土井地区のスクールバスの利用について、1～3年生が対象のため、4年生以上は親が学校まで送っている状況。兄弟がいる場合は、低学年生も一緒に送っていく現状であるため、困っている。	全員を乗車対象にすることができないのか		教育民生	令和7年12月通常会議の一般質問で星敦子議員がスクールバスについて取り上げ、「通学距離の計測およびバス停の基準の決め方はどうなっているのか。」という質疑に対し、当局からは「バス停から学校の距離ということにしている。その運用にあたってはスクールバスの契約更新時期があるため、その際に検討をし直したい。」と回答がありました。「学年の基準を下げる、3～4年生までは認めるといったことはどうか。」という質疑に対し当局からは「今のところ検討はしていないが、南小学校区について、今後の運行基準の検討の中に入ってくるのではないか。」という答弁がありました。
道路改修予算の確保をしてほしい	予算の確保		産業環境	当局は令和7年度の重要課題として生活道路の整備手法の見直しを掲げており、また幹線道路と生活道路に関しては現在道路整備プログラムの策定を進めております。これまでよりも効率的、効果的な市道整備に向けて令和8年度から道路整備事業の実施を予定しているところです。当常任委員会においても予算審査等の際に生活道路整備の遅れについて地域から要望が多数あり、当局の対応について質疑しております。今後も引き続き生活道路整備の進捗については当局の対応を注視してまいります。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
道路の横断歩道の白線を補修してほしい	道路補修		産業環境	ご意見として承りました。横断歩道の白線については公安委員会（警察）が整備してはいますが、道路の危険箇所を発見した際には「道路情報収集システム」から危険箇所を投稿し当局にお知らせすることが可能です。道路の管理状況については今後の予算審査等の際にも注視してまいります。
土井公民館の砂利道の舗装をお願いしたい。（交通量が多く、傷みが激しいため）	道路補修		産業環境	ご意見として承りました。当局は令和7年度の重要課題として生活道路の整備手法の見直しを掲げており、また幹線道路と生活道路に関しては現在道路整備プログラムの策定を進めております。これまでよりも効率的、効果的な市道整備に向けて令和8年度から道路整備事業の実施を予定しているところです。舗装整備については市内全域から多数のご要望があることから、当常任委員会でも今後の予算・決算審査の際に注視してまいります。
他人の土地が荒れ果てて困っている	草刈り等ができるよう、行政に対応してほしい		産業環境	ご意見として承りました。敷地内の除草は所有者が行うことになっています。当局は管理不全空き家に関して現状確認を行い、近隣の住居環境に影響がある場合は土地の所有者に対し適切な管理を促していると説明がありました。
公園の遊具が不足している	公園の遊具を拡充してほしい		産業環境	令和7年9月の決算特別委員会分科会で、公園の遊具の更新について質問し、当局からは公園施設長寿命化計画に基づき、現在危険な状態にある遊具から優先的に安全性が確保された遊具への更新を進めている。地域住民の意見を聞きながら、必要性のある遊具は維持していきたいと回答がありました。遊具の管理に関して引き続き予算審査等の際に注視してまいります。

※上記以外のつなぐ会の意見は P48～掲載しています。

【黒沢尻北地区】

<つなぐ会 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
急増する外国人との文化交流	地区交流センター、hoKko等を活用し、外国人の方たちのお茶飲みやクッキング教室で交流する		総務	市では北上市国際交流ルーム管理運営事業を実施し、外国人も日本人も楽しめるイベントの企画や語学講座を開催しています。令和6年度決算審査の当局説明では令和6年度の国際交流ルームの利用者数は外国人1,787人、日本人5,371人でした。外国人との文化交流の手法については予算、決算審査の際の視点として参考とさせていただきます。
地区の役員の担い手がいない	専門の市職員を配置してほしい。話し合いの場やきっかけづくりをしてほしい		総務	令和7年度6月通常会議の一般質問において居駒勉議員が区長制度が廃止されたことに伴う自治会長への負担増について言及し、当局からは、「自治会長の負担増にならないよう市からの依頼事項は整理していく」との答弁がありました。令和7年度の市の重要課題では「持続可能な自治会活動支援」を掲げ、自治会へのヒアリングや現状分析、対策の検討を進めていることから、その進捗とともに市からの依頼事項の整理状況や自治会の負担減に係る対応策についても常任委員会で注視していきます。
区長や民生委員についても担い手不足。	区長については仕事量を提示したうえで、市で募集してほしい。		総務	
広報配布が大変である	広報配布の外注はできないのか		総務	令和6年度決算審査において、委員から「広報配布が困難な自治体が生じた際に、どのように市として対応していくのか。」との質疑があり、当局からは「現在は地域内での配布を原則としているが、地域負担がどうしても大きいという声があれば、業者ポスティングや別の方法を検討しなければならないと考えている。地域の声を聞いた上で、地域内での配布とするか、業者ポスティングとするかを選択できるような方法を検討の上、庁内での合意を図っていきたい。」との答弁がありました。
個人情報情報が邪魔している。コミュニケーションが取れない。家族構成が分からず自治会が困る。	個人情報の範囲を見直してほしい。(世帯名簿)		総務	ご意見として承りました。 議会における議論の経過では、令和3年4月の行政区長の委嘱廃止に伴い、世帯名簿ではなく、配布先だけを示した配布先名簿を配ることについて、説明、答弁が行われています。 なお、自治会における名簿・個人情報の取扱いについては令和7年度の重要課題である「持続可能な自治会活動支援」の進捗と併せ、検討状況の確認を行ってまいります。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
一人暮らしの高齢者のくらしが心配。	通信連絡網等を構築してほしい。		総務	議会から市へ「持続可能なコミュニティへの支援に関する提言」を令和5年度に行い、「情報共有ツールの活用」について提言を行いました。令和7年度の市の重要課題では「持続可能な自治会活動支援」を掲げ、自治会支援ツールの検討としてLINEオープンチャットを活用した情報共有の実験を行うこととしていることから、その進捗及び結果について常任委員会でも注視していきます。
武道館の駐車場料金無料化	武道館の駐車場料金無料化		総務	令和7年度12月通常会議の一般質問において高橋晃大議員から北上市民武道館の駐車場料金について質疑を行い、当局からは「北上市武道会から要望書を頂いており、令和8年度以降の負担軽減の対応方法について庁内協議を進めている状況である。令和8年度当初からは事業を行えるように進めていきたい。」との答弁がありました。その結果、1月臨時会議において3時間まで駐車料金を補助することが決定しており、令和8年2月利用分から補助が開始されております。
議会・議員に対して市民が意見を言える場が少ない		意見を言えるフォームなどがネット上にあっても良いのではないか	総務	ご意見ありがとうございます。議会の広聴の取組み施策の検討に活用させていただきます。
アパート住民で自治会に入らない人も多い（短期滞在者もいる）。その人たちのために地域住民が分別など行うのはおかしいのでは。広報も配らなくてよいとされているアパート住民分届き、配らない分は処分するよういわれた。広報の料金も税金。税金を無駄にしているのでは。			総務	ご意見として承りました。 なお、市では「行政連絡等事務事業」として、広報等の文書配布及び各種委員の選出などの活動を行う地域の団体に対し交付金を交付しております。当該事業の予算の使い方や広報配布のあり方については予算決算審査の際に注視させていただきます。
児童の大きな道路の横断が危ないと感じる	見守り隊の配置やスクールバスの活用等、各種計画の見直しをしてみてもは。		教育民生	ご意見ありがとうございます。今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。
小中高生が放課後遊ぶ場所がない	児童館など子どもたちの居場所が必要		教育民生	ご意見ありがとうございます。今後も市民の皆さまからの意見については、つなぐ会等において聴取し、議会審議の参考とさせていただきます。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
重層的支援を社協に任せるのはなぜか。		委託料が何に使われているか教えてほしい	教育民生	令和7年3月に行った予算第2分科会の審査のなかで、当局より、包括的相談支援事業、潜在ケースの発見等を行うアウトリーチ事業、地域で孤立化しているような方を地域とつながるための参加支援事業、課題が複数の分野にまたがるケースや解決に困難なケースに対し、全体的な支援の方法を割り振りすることができる多機関協働事業を新たに実施する。と当局より回答がありました。
上野町三丁目の通学路の確保	道路を広くする	実際の利用者の意見の吸い上げ。子育て中の方たちの話をきいてほしい。	産業環境 教育民生	ご意見ありがとうございます。当局に確認したところ「当該道路につきましては、構造上の制約や用地の問題などから、歩道を新たに整備することは現時点では難しい状況である」と回答がありました。さらに地元の意見の集約に努めてまいりたいと思います。また、今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。
ときわだい保育園から春日踏切への道路がせまい。クランクが危ない	家を動かして道路を広げる		産業環境	ときわだい保育園から北側の道路については、令和6年3月の予算特別委員会分科会で道路拡幅の計画について質疑があり、当局からは地権者の協力が得られないため現時点では拡幅の計画はない旨の回答がありました。今後の予算審査等の際の視点として参考にさせていただきます。
上野中通学路が車が多く危険を感じる	歩車分離の道路。歩道を整備		産業環境	当局に確認したところ「当該道路につきましては、構造上の制約や用地の問題などから、歩道を新たに整備することは現時点では難しい状況である」と回答がありました。
クルマ社会が進み歩行者が危ない	安全歩行者通路の設定をする（東北本線東西通路、信号機の移設、横断マーク）。交通安全対策・教育の強化		産業環境 総務	ご意見として承りました。 規制標識や信号機、横断歩道は公安委員会（警察）が整備するものとなっております。その他の交通安全施設（ガードレールや道路照明、カーブミラー、道路標識等）は地域づくり組織を通じて交通安全対策協議会にご要望いただくことが可能です。要望の流れについては市ホームページに掲載されておりますのでご活用ください。 また、交通安全対策について、令和6年度決算審査の際に当局からは、交通指導員設置事業において交通事故を防止するための交通安全思想の普及と正しい交通ルールの励行を指導する指導員を設置し、街頭指導や交通安全学習を実施しているとの説明がありました。 いただいたご意見に関しましては、今後の予算・決算審査等の際の参考にさせていただきます。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
福祉センター前の歩道橋が危険である アピア前への信号移設 ジョイス前の交通安全対策	県管轄なのであれば、県へ要望してほしい。 県の土木に要望をあげても、どこでどう止まっているのか分からない。		産業環境	令和6年6月通常会議の一般質問において、県道相去飯豊線の安全性について質問しており、当局からは地域からの交通安全施設に関する要望は、北上市交通安全協議会が集約し、同協議会の検討部会で各主管期間等に改善や計画の有無について照会するとともに、危険箇所の点検を行っている。全地区の要望全てに対応することが難しく、検討の上、緊急を要する箇所から安全確保を図っているとの回答がありました。信号の移設については県公安委員会(警察)から、現在の設置場所での一般の利用者が多数のため移設はできないと回答があり、その旨を地域づくり組織に回答していると答弁がありました。引き続き県に対して要望されるよう、当委員会としても今後の対応を注視していきます。
除雪車が狭い交差点に雪をたくさん置いていく	雪を置いていく場所を変えてほしい		産業環境	ご意見として承りました。なお、除雪車が通った後に路肩によせられた雪については、各家庭で処理していただくよう市民の皆様をお願いしているところです。ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。
道路が狭くて除雪車が入れず、除雪されない市道・私道がある	狭い道路への除雪をしてほしい		産業環境	ご意見として承りました。除雪に関しては市民、地域から多数のご要望が出ていることを把握しております。除雪のあり方について、今後も当局の対応を注視してまいります。
豪雨時に水路が氾濫してしまう	水路の配水系統を調査し、国の補助金等を活用して排水路・側溝の整備を行ってほしい。		産業環境	当局では令和7年度の重要課題として内水浸水対策を実施しており、令和6年度に浸水被害のあった排水区の雨水管理計画を策定し、計画的な内水浸水対策の実施を進めています。今回ご指摘のあった内水浸水箇所については、今後当常任委員会においても当局の対応を注視してまいります。
空き家の草木がぼうぼう、荒廃	空き家のことを誰に相談すればよいのか分かるようにしてほしい。		産業環境	令和5年2月通常会議の一般質問において、空き家対策の周知方法について質問しており、当局からは市広報紙での特集記事掲載や、北上ケーブルテレビでの周知の他、毎年固定資産税の納税通知書に空き家の相談窓口を案内するチラシを同封しているとの答弁がありました。空き家対策事業について、当委員会でも引き続き注視してまいります。
空き家が増えて放置されているのが心配である	空き家対策の強化をしてほしい		産業環境	令和7年3月の予算特別委員会分科会で、空き家利活用促進事業補助金のこれまでのメニュー(解体補助、改修補助、整備補助、取得補助)に加え、令和6年度からは除却

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
				補助も追加したこと、また空き家管理計画に基づき、管理不全空き家への指導を強化するなど対策を行っていきたいと説明がありました。更なる対策強化に向けて当委員会でも引き続き当局の対応を注視していきます。
公園内の高木が枝折れ落下して危険 水辺公園の整備をしてほしい	水辺公園を整備して、美しい公園にしてほしい		産業環境	令和7年3月の予算特別委員会分科会で、公園内の樹木の管理について質問し、緊急度の高い樹木から順に対応している。道路にはみ出した枝は車両や歩行者の通行の妨げになることから、安全面を考慮し、枝落とし等を行い対応していると回答がありました。公園の樹木の管理については引き続き当常任委員会でも注視してまいります。
小売店のごみ処理問題。 地域のごみ置き場に多量のごみ。	法改正し、業者回収してほしい。		産業環境	ご意見として承ります。事業系ごみの出し方については今後の予算審査等の際の視点として参考にさせていただきます。
観光に力を入れていくべきと考える	民俗村や夏油温泉、スキー場等のPRをもっとしてほしい		産業環境	当常任委員会では、令和7年度に夏油高原スキー場を視察しました。運営会社である北日本リゾートの運営努力により、来場者数が伸びていることを確認しております。夏油高原スキー場の盛り上げのために、引き続き市と北日本リゾートが連携し観光振興を推進していくことを常任委員会としても働きかけてまいります。また当常任委員会としても、市内イベント情報の発信強化、観光コンベンション協会の機能強化等の観光振興について、北上市総合計画後期アクションプランの見直しを行うよう意見を付しています。引き続き当局の取組について当委員会で注視してまいります。
アパート住民のごみ出しのルールを守られていない	条例等で厳しく取り組んでほしい		産業環境	令和6年12月通常会議の一般質問でごみの分別について質問した際に、ごみ百科やごみカレンダーの全戸配布のほか、ごみ分別アプリ、市広報、HPなどを活用しごみの分別を周知している。アパートの入居者には、不動産業者に新規入居者へのごみ分別アプリのチラシ配布を依頼し、周知に努めている。増加傾向にある外国人居住者向けにチラシやごみ分別アプリの多言語化の準備を進めていると当局から答弁がありました。ごみ捨てのルール厳守について、引き続き当局の対応状況を注視して参ります。

※上記以外のつなぐ会の意見は P50～掲載しています。

※地域ヒアリングの意見は P42～掲載しています。

【黒岩地区】

<つなぐ会 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
高齢者の見守り支援について	防災ラジオのイメージで安否確認ができるシステムの周知を徹底してほしい		総務	議会から市へ「持続可能なコミュニティへの支援に関する提言」を令和5年度に行い、「情報共有ツールの活用」について提言を行いました。令和7年度の市の重要課題では「持続可能な自治会活動支援」を掲げ、自治会支援ツールの検討としてLINEオープンチャットを活用した情報共有の実験を行うこととしていることから、その進捗及び結果について常任委員会でも注視していきます。
移動難民について	モバイルクリニックの活用拡大。提携クリニックの拡大やPR強化を図ってほしい。		教育民生	令和7年9月に行った決算第2分科会による審査において、前年度より2医療機関が増えていると当局より回答がありました。今後もコスト削減等を図り、事業を推進していくと回答がありました。
高齢者の見守り支援について	ヘルパー人材を増やしてほしい		教育民生	ご意見ありがとうございます。参考にさせていただき、国の支援策等についても注視してまいります。
	介護保険・訪問介護等々が高額となることから、補助等を検討してほしい		教育民生	ご意見ありがとうございます。今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。
	訪問診療等について分からない人も多いため、最初にどこに相談すれば良いのか周知してほしい		教育民生	周知に関するご意見については、参考にさせていただき、今後の予算審査等の際に当局へ伝えてまいります。
空き家対策について	市の方で解体してほしい。 空き家バンクの活用を周知してほしい。 空き家の状況を把握の上、地主に連絡してほしい。また、罰金等を課してほしい。 シカ・イノシシ対策を施してほしい。		産業環境	令和7年9月の決算特別委員会分科会で、空き家所有者へのアプローチについて質問し、当局からは空き家の調査を行い、危険な空き家と判定したところの所有者には補助金が活用できることを通知していると回答がありました。空き家対策事業について、当委員会でも引き続き注視してまいります。
空き家活用について	黒岩の魅力を宣伝し、移住者補助金等を増やしてほしい。		産業環境	ご意見として承りました。当局では空き家の活用として、市内の空き家の購入・賃貸に関する情報、地域の魅力や住まいに関する情報を掲載している「空き家バンク」を運

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
				営しているほか、人口減少地域への定住促進として住宅取得への補助に取り組んでいます。人口減少地域への定住については当委員会においても重要な課題ととらえており、引き続き予算審査等の際に注視してまいります。
農業の担い手不足について	農機具代・資材代の補助等を検討してほしい 農業機械のレンタル実現してほしい		産業環境	当常任委員会において、農地の集約、農業の担い手不足について調査研究しています。重要な課題であると捉えおり、今年度中に当局に対し政策提言を実施する予定です。引き続き調査・研究を行ってまいります。
公共交通について	おに丸号を週2回ではなくせめて3回にしてほしい。		産業環境	ご意見承りました。令和7年3月の予算特別委員会分科会において当局からは、おに丸号の運行が週2回でよいのかという議論になり、まずは比較的用户の多い口内線の毎日運行を令和7年度から試験的に行うこととした。毎日運行に関して運転手不足という課題があると説明がありました。おに丸号の運行について引き続き進捗状況を注視してまいります。
病院（済生会・中部）を山手線内回り外回りのようにぐるぐる回ってほしい	バス路線のルートが遠回りであり、目的地まで非常に時間がかかる。もっとすんなり病院にいけるようにできないか。		産業環境	ご意見として承りました。バス路線のルートについて、今後の委員会の調査・研究等の参考にさせていただきます。
高齢者の見守り支援について	病院行のバスやタクシー等ツールの充実を図ってほしい		産業環境	
ガンケ（立花から黒岩までの川沿いの県道の通称）の歩道整備について	子どもたちは命がけで通学しているため、早急に整備してほしい		産業環境	当局では岩手県との政策協議において、花巻北上線の歩道整備を継続して要望しています。岩手県が令和3年度から事業着手していますが、早期完成を目指し引き続き要望することを当局に働きかけてまいりたいと思います。
人口減少の川東はアパート等が少ない。農地転用をやすくしてはどうか。	農地転用をやすくしてはどうか。		産業環境	農地転用申請の受付窓口は農業委員会事務局ですが、転用の許可は岩手県が農地法に基づいて行います。人口減少地域の人口増へとながるような政策を委員会でも引き続き研究してまいります。

※上記以外のつなぐ会の意見は P53～掲載しています。

※地域ヒアリングの意見は P45～掲載しています。

【飯豊地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
<p>○地域づくり組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劣悪な処遇のため、センターの職員の確保が厳しい。 ・人口の少ない地区も、1万人を超える地区も、センターの職員体制が同じ、総合交付金も変わらないことに不合理はないのか。 ・地区交流センターに、行政経験豊富な市の職員、または、市職員OBの配置はできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の少ない地区も、1万人を超える地区も、センターの職員体制が同じ、総合交付金も変わらないことに不合理はないのか。 ・地区交流センターに、行政経験豊富な市の職員、または、市職員OBの配置はできないのか。 		総務	<p>地域づくり総合交付金については予算審査の際の有力な視点とさせていただきます。また、交流センターの職員配置に関してはご意見として承りました。</p>

※その他の意見は P44～掲載しています。

<つなぐ会 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
地域コミュニティ作りについて	市の職員・OB がもっと地域づくりに関わるべきではないか		総務	<p>令和6年3月に総務常任委員会から市へ「持続可能な地域コミュニティへの支援」について政策提言を行いました。また、今年度実施している「北上市総合計画」の中間年度確認に対する議会意見として、今後さらに加速する地域づくりの担い手不足に係るサポート体制の構築にむけて、地方公務員や企業が地域づくりに参画しやすい体制整備について検討することという新たな意見を付しております。</p>
交通量調査は休みの日にやっても意味ないのではないか	交通量調査は休みの日にやっても意味がないのではないか		総務	<p>ご意見として承りました。</p> <p>なお、市が主要路線における交通量を把握し、今後の道路網整備等のための基礎資料を得ることを目的として実施する交通量調査は毎年7月の第2金曜日に実施しています。</p> <p>※道路整備や店舗誘致等に係る民間調査が休日に行われている可能性もございます。</p>
学校でのいじめの発生状況が不安	学校でのいじめの状況は把握しているのか。またどのような状況か。		教育民生	<p>教育民生常任委員会の所管事務調査において、困難を抱える子どもについて調査する際、いじめの状況について当局より、認知件数は小学校が中学校より多く、人件数</p>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
				は増加傾向である旨を聞き取りしている。各学校で学校いじめ防止対策方針を策定し対応しており、教育委員会から年度ごとの見直しを行うよう指示していると説明がありました。
子どもたちの遊び場が少ない	こどもたちの遊び場確保		教育民生	ご意見ありがとうございます。今後も市民の皆さまからの意見については、つなぐ会等において聴取し、議会審議の参考とさせていただきます。
給食費を無料にして家計を助けてほしい	給食費を無料にして家計を助けてほしい		教育民生	市議会より令和6年度中において、国に対し学校給食費の無償化を実施することを求める意見書を提出いたしました。 令和8年度より小学校の給食費が無償化となりました。
交通量増加に伴う交通安全の不安について	道路の白線を塗りなおしてほしい		産業環境	ご意見として承りました。横断歩道の白線については公安委員会（警察）が整備していておりますが、道路の危険箇所を発見した際には「道路情報収集システム」から危険箇所を投稿し当局にお知らせすることが可能です。道路の管理状況については今後の予算審査等の際にも注視してまいります。
	通学路の整備を優先的に行ってほしい		産業環境	当局では令和7年度岩手県との政策協議において、飯豊小・中学校に通う児童生徒及び歩行者の安全確保のため、清水野村崎野線の道路改良を要望しています。早期実現に向けて引き続き要望することを当局に働きかけてまいります。
太陽光発電の計画について	太陽光発電の計画が出たときに、民地で景観資産だったら、何か対応策は可能か。		産業環境	当局に確認したところ「景観資産は、認定し地域の取り組みを評価することで景観形成意識の向上を目指すものになるため、太陽光発電施設の新設を規制するものではない。一定規模以上の太陽光発電施設を設置する際には届出が必要となるが、景観への配慮ということで色味や高さなどには規制を行っている。景観資産に認定する際も太陽光発電を設置する際も、どちらも土地の所有者が同意する必要があり、最終的には土地の所有者の意向次第となる」との回答がありました。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
農業をしている。もっと田んぼで米を作ってほしいがやる人がいない。農家で子どもを育てて行けるか。経費に対する支援も法人でないと難しく、個人への支援がない。	経費に対する支援		産業環境	当常任委員会において、農地の集約、農業の担い手不足について調査研究しています。重要な課題であると捉えおり、今年度中に当局に対し政策提言を実施する予定です。引き続き調査・研究を行ってまいります。
当地区は舗装率が低い	道路環境を良くしてほしい		産業環境	当局は令和7年度の重要課題として生活道路の整備手法の見直しを掲げており、また幹線道路と生活道路に関しては現在道路整備プログラムの策定を進めております。これまでよりも効率的、効果的な市道整備に向けて令和8年度から道路整備事業の実施を予定しているところです。当常任委員会においても予算審査等の際に生活道路整備の遅れについて地域から要望が多数あり、当局の対応について質疑しております。今後も引き続き生活道路整備の進捗については当局の対応を注視してまいります。

※上記以外のつなぐ会の意見は P55～掲載しています。

【口内地区】

<つなぐ会 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
集落支援員について	集落支援員の業務は何のためか？その分の予算は地域にまわしてほしい。		総務	令和7年度予算審査において委員から集落支援員設置事業について質疑を行い、当局からは「和賀・川東地区の計8地区を対象に地域づくり組織と共に集落点検を実施し、課題解決の支援を行うために委嘱するもの。」との答弁がありました。また、市では令和7年12月1日付けで藤根地区の地域づくり組織を主に伴走支援する集落支援員(会計年度任用職員)を任用しております。集落支援員設置事業については今後の予算決算審査においても引き続き状況を注視していきます。
小学校の跡地活用について	小学校跡地の活用について、自治協からの要望はどうなっているか。ボヤっとした内容しかきていない。		総務	令和7年度9月通常会議の一般会計補正予算の審議において、平野明紀議員から口内地区交流センター移転整備事業について質疑を行い、当局からは「検討委員会において様々な意見が出されたことは承知しておりますが、旧校舎の活用にあたっては修繕等にも多額の費用もかかることから、最終的には校舎・校庭を口内地区交流センターとして、体育館をスポーツ交流館として活用することに集約された。」との答弁がありました。なお、当補正予算は可決されております。
移住定住について	街なかに人口が密集し、工業団地に通勤するのに渋滞が発生していて、口内からであれば渋滞なくスムーズとのことで、口内への移住を促すため市で取り組んでほしい(アパート整備等)		産業環境	ご意見として承りました。当局では空き家の活用として、市内の空き家の購入・賃貸に関する情報、地域の魅力や住まいに関する情報を掲載している「空き家バンク」を運営しているほか、人口減少地域への定住促進として住宅取得への補助に取り組んでいます。人口減少地域への定住については当委員会においても重要な課題ととらえており、引き続き予算審査等の際に注視してまいります。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
インフラ整備について	自治協から市に要望を出しているが、まだやってもらえない。冬場凍結して危険な個所にロードヒーティングを設置してほしいのになぜ進まないのか。		産業環境	当局に確認したところ「口内地区からいただいたインフラ要望のうち、側溝整備については令和6年度に整備済みである。その他の要望については現時点で実施困難である」との回答がありました。

※上記以外のつなぐ会の意見は P57～掲載しています。

※地域ヒアリングの意見は P45～掲載しています。

【岩崎地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
<p>除雪について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者宅道路から門口までの除雪の担い手不足 ・区長自ら除雪に当たる昨年3件今年2～3件増えた ・AM6:30～9:00頃までかかるのでやれる人がいない ・市役所からは指示するだけ、地域の仕事か？市や社協の手配が必要 ・除雪ができなくなる前に高齢者一人暮らしの冬場の生活支援策を検討することが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪ができなくなる前に高齢者一人暮らしの冬場の生活支援策を検討することが重要 		総務	<p>ご意見として承りました。</p> <p>なお、市では自力で自宅の除排雪作業が困難な高齢者等の支援を行う地域づくり組織等を支援する「北上市地域協働雪対策事業」を実施し、屋根の雪下ろしや除排雪活動に対して補助金を交付しておりますが、補助金の活用状況や交付基準等については引き続き予算・決算審査の際の有力な視点とさせていただきます。</p>

※その他の意見は P46～掲載しています。

<つなぐ会 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
市立大学について	10年後・20年後の構想を伺いたい。子供が減る中で継続していけるのか。		総務	<p>市が示した基本構想に係る Q & A では、「県内の高校生に対しアンケート調査を実施し、妥当性ある数字として学生確保が見込める」としております。</p> <p>なお、開学 10 年後、20 年後の構想についてはこれまでの議会審議では答弁がありませんでしたが、長期的な大学経営に関する視点は重要であることから、今後の議会審議の参考とさせていただきます。</p>
介護職員のバックアップ	介護職員の待遇改善等		教育民生	<p>ご意見ありがとうございます。参考にさせていただき、国の支援策等についても注視してまいります。</p>
学校適正配置について	学区に拘らず、北上市立小中学校の配置、育成を検討すること。		教育民生	<p>ご意見ありがとうございます。今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。</p>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
モバイルクリニック事業について	PR を見たが実際の活用法が良く分からないため改善してほしい。		教育民生	ご意見ありがとうございます。モバイルクリニックについては市 HP にて利用できる医療機関等の情報が掲載しております。また、当局の担当課は健康こども部健康づくり課となるため、ご不明な点があればお問い合わせください。

※上記以外のつなぐ会の意見は P59～掲載しています。

つなぐ会開催地域以外から頂いたご意見に対する常任委員会からの回答

【江釣子地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	常任委員会回答
<p>地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興協議会を手伝っていただく担い手。自治会長などの成り手不足。 ・民生委員などのなり手不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区交流センターの指定管理料金を上げて欲しい。(これでは人材が育たない) 		総務	<p>令和7年度予算審査において当局からは、交流センター職員のモデル賃金を示し、人件費を増額したとの説明がありました。</p> <p>今後も交流センター職員の人件費が適正な価格となっているか、予算審査の際の有力な視点とさせていただきます。</p>
<p>保育園・幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030年江釣子幼稚園が廃止を予定、2036年鳩岡崎幼稚園と江釣子保育園の廃止が計画されている。 ・ここ2～3年がピークで学童に入れない児童がいる。 	<p>今後の計画を早期に知らせてもらいたい。</p>		教育民生	<p>ご意見、ありがとうございます。</p> <p>早期に議会としても情報をキャッチし、お知らせしていきたいと思えます。</p>
<p>小学校・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動の指導員へのサポートをして欲しい。 		教育民生	<p>土日休日等部活動地域移行事業について9月通常会議のなかで、決算特別委員長報告の中に「具体的な計画に基づいた予算だてを行うよう見直すべき」という意見を付しました。</p> <p>今後の議会審議の参考とします。</p>
<p>農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手不足。 ・高速道路東側がまだ圃場整備していないので「水」の入りが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化公社には若い人がいるのでの暖簾分けでもして、作業してもらいたい。 ・5年に1回の農振見直しを積極的に行って欲しい。 		産業環境	<p>当常任委員会において、農地の集約、農業の担い手不足について調査・研究しています。重要な課題であると捉えており、令和7度中に当局に対し政策提言を実施する予定です。引き続き調査・研究を行い、当局の対応についても注視してまいります。</p>

【鬼柳地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
<p>大学設置にはメリットが見えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域説明は1回のみ ・子や孫は都会に出ている。卒業後地元に戻ることは考えられない 	<ul style="list-style-type: none"> ・人づくりは就学前、義務教育課程に支援を 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学について議会の積極的な情報発信を一度の地域説明では理解できない 	<p>総務</p>	<p>市議会では北上市立大学構想に係る市民ヒアリングを複数回実施し、その結果を議会審議に反映させております。令和7年10月臨時会では、大学設置に係る補正予算を否決しており、今後も大学設置に関して慎重議論を行って参ります。</p> <p>なお、大学設置に関する議会審議の経過や当局との質疑答弁結果、市民の皆様から寄せられたご意見については、市議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。</p>
<p>農地と宅地の混在化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域目標の農地集積が70%未満(80%未達) ・企業誘致に比較し政策重要度が低下、農業こそ大事にするべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業担い手不足、支援と後継者育成 ・農業大学校との連携、学生への支援 		<p>産業環境</p>	<p>当常任委員会において、農地の集約、農業の担い手不足について調査・研究しています。重要な課題であると捉えており、令和7度中に当局に対し政策提言を実施する予定です。引き続き調査・研究を行い、当局の対応についても注視してまいります。</p>
<p>有害鳥獣の駆除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・殺傷、捕獲後の処分は焼却のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・駆除員の育成と報酬支給 		<p>産業環境</p>	<p>令和7年9月の決算特別委員会分科会で、実施隊の報償費について質問し、有害捕獲に対する実施隊への出動報酬は令和6年度に増額改定している。また猟友会からクマ捕獲1頭あたりの金額を増額してほしいと要望を受けており、有害捕獲の出動に対する報酬額と合わせて増額を検討していく。実施隊の育成に関しては、猟銃免許取得に対する補助を行っているとの回答がありました。当常任委員会としても引き続き市の対応を注視してまいります。</p>
<p>民間アパートが多く、転入者増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ搬出日に遅れた場合、近隣に搬出できる集積場所を 		<p>産業環境</p>	<p>ご意見として承りました。</p> <p>鬼柳地区内には①北上市清掃事業所、②北日本環境保全鬼柳工場の2か所、資源ごみ常設ステーションがあります。また市内には資源ごみを回収している店舗もあり、こちらをご利用いただくことも可能です。</p>

【黒沢尻西地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
センター職員の給料が安い。	人件費を増やして欲しい。		総務	令和7年度予算審査において当局からは、交流センター職員のモデル賃金を示し、人件費を増額したとの説明がありました。今後も交流センター職員の人件費が適正な価格となっているか、予算審査の際の有力な視点とさせていただきます。

※その他の意見は P43～掲載しています。

【黒沢尻東地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
担い手の発掘が困難。役員に自発的になる人がいない。住民同士の結びつきが弱くなっている。地域の高齢化と新住民が自治会に眼を向けない。	区長制度に代わる自治会支援	自治会を区長制度に代わる組織として認めること（現行、自治組織は自治協だけです）、その論戦をおこすこと	総務	令和7年度6月通常会議の一般質問において居駒勉議員が自治会の身分の確立、地域づくり組織条例の見直しについて質問を行い、当局からは「現時点ですぐに役職を付与することは考えていないが、自治会長の負担増にならないよう市からの依頼事項は整理をしていく必要がある。地域づくり組織条例についてもこれまでの策定経緯や重みを鑑み、地域の方々の意見を吸い上げてまとめていくものであることから、今条例を変えるという考えはない。」との回答がありました。令和7年度の市の重要課題では「持続可能な自治会活動支援」を掲げ、自治会へのヒアリングや現状分析、対策の検討を進めていることから、その進捗について常任委員会で注視していきます。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加者の減少 ・担い手不足の理由に加えて、行事にかかる予算が不足し魅力的な行事が企画しにくい。 	地域活動への補助金の増額。	この内容について議会で取り上げ、市としての対応を議論してほしい。	総務	今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。
住民からの様々な問合せ、相談、要望があった場合の地域から行政に対するルートを教えてください。	住民からの様々な問合せ、相談、要望があった場合の地域から行政に対するルートを教えてください。		総務	ご意見として承りました。なお、市では「きたかみ市民の生活ガイド」を発行し、行政情報や問い合わせ先の掲載をおこなっておりますのでご利用ください。
地区内に体育施設がない。	地区内に体育施設を作してほしい。 北中の体育館の活用をすすめてきますが、現時点でも中学生の部活も十分にできない状態です。北中の体育館が2つになっても地域活用まではできないと思います。 (19-21 時の夜間のみでしょう)	地区内に体育施設を作してほしい	総務	市では「北上市建築物最適化計画」を定め、人口減少時代でも公共施設を維持していくために必要な水準として2050年度末の公共建築物の延床面積を、2014年度末の延べ床面積と比較して約3割削減するという目標を定めています。また、「北上市総合計画」においてもインフラ資産マネジメントの着実な推進として、公共施設の複合化・集約化・多機能化を進めるとともに計画的に修繕や長寿命化を進めていくとしています。地域に必要な施設の新設、改修については地域から市へ積極的に要望を挙げただけとともに、公共施設の優先度や重要度に基づいた施設整備が推進されているかどうかについては常任委員会で注視していきます。
交流センター建物（バリアフリー、傾いている）	センターの建て替え・リフォーム	センターの建て替え・リフォーム		
交流センターが手狭。 地区の人口に対し、交流センターが狭く、ホールの許容人数が少ない。多数の参加者がいる行事開催が難しい。	建て替え	建て替えの後押し	総務	
<ul style="list-style-type: none"> ・組織内役員の高齢化と後継者不足、民生委員などのなり手不足。 ・65歳を過ぎても働く人が増え、地域に目を向ける余裕がない人が増えている。民生委員などの仕事の範囲が増え、激務を敬遠する人が多い。 	市職員（OBも含めて）が積極的に地域活動に参加するよう推奨・指導してほしい。 民生委員などの仕事を簡略化し、仕事を持っていてもできる内容に変える。	この内容について議会で取り上げ、市としての対応を議論してほしい。	総務 教育民生	令和6年3月に総務常任委員会から市へ「持続可能な地域コミュニティへの支援」について政策提言を行いました。また、今年度実施している「北上市総合計画」の中間年度確認に対する議会意見として、今後さらに加速する地域づくりの担い手不足に係るサポート体制の構築にむけて、地方公務員や企業が地

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
				<p>域づくりに参画しやすい体制整備について検討することという新たな意見を付しております。</p> <p>また、民生委員の仕事内容については、令和2年度の一般質問において内容を取り上げ、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」について民生委員の仕事から外れました。なり手不足等、いただいた意見は、今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。</p>
<p>住民からの様々な問合せ、相談、要望があった場合の地域から行政に対するルートを教えてください。</p>	<p>住民からの様々な問合せ、相談、要望があった場合の地域から行政に対するルートを教えてください。</p>		<p>総務</p>	<p>ご意見として承りました。</p> <p>なお、市では「きたかみ市民の生活ガイド」を発行し、行政情報や問い合わせ先の掲載をおこなっておりますのでご活用ください。</p>
<p>令和7年度国勢調査の臨時統計調査員「推薦依頼」について</p>	<p>不足人数を行政区に依頼しているが、行政区での対応は大変困難であり、市で対応してほしい。</p> <p>→依頼する法的根拠を示してほしい。強く要望します。</p>		<p>総務</p>	<p>令和6年度決算審査において、委員から国勢調査員の確保の手立てについて質疑を行い、当局からは「国勢調査は大規模な調査なので多くの調査員が必要。定期的な調査は統計調査員協議会の協力で調整しているが、国勢調査は自治組織等にも協力をいただき、広く人員を確保している。」との答弁がありました。調査員の推薦が地域にとって負担になっていることを踏まえ、常任委員会でも調査員確保のあり方について注視していきます。</p>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
区長制度廃止について		区長制度廃止したことによる「メリット・デメリット」を教えてください。	総務	令和6年3月に実施した政策提言に係る調査研究において、区長制度廃止により「役員や委員のなり手がいない」「市に意見を伝えづらい」「自治協と自治会の役割分担の不明瞭さ」などが困りごととして挙げられました。 区長制度廃止前は「自治会長」と「区長」を同じ人が兼務している地区が多くあったことから、1人の負担が大きくなっているという課題があり、その解決が区長制度廃止のねらいでもありましたが、現在も市から地域への依頼について、実質的な負担を自治会長が負っているという構図に変化は見られません。自治会のあり方については令和7年度の重要課題においても現状分析や対策の検討が行われていることから、総務常任委員会としても注視していきます。
北上市ストリートデザイン推進会議	北上市ストリートデザイン推進会議の進行状況を広報等に掲載していただきたい。		総務	北上市ストリートデザイン推進会議については市ホームページに公開されているほか、令和7年10月号の広報にて社会実験「きたかみウォークブルチャレンジ」の様子が掲載されました。
市道の整備。 ・川岸川端線の歩道の延長整備 ・上野町小鳥崎線の拡幅整備	市道の整備。 ・川岸川端線の歩道の延長整備 ・上野町小鳥崎線の拡幅整備		産業環境	ご意見として承りました。今後の予算・決算審査の際に参考にさせていただきます。
中学校建設に関わる住民の迷惑が事前に説明されなかった（住民説明会開催を要請して一定程度解決）	自治組織の見直し、住民の問題は未だに区に相談に来る（やむを得ない）、区・自治会を住民自治組織と認め、課題解決を図るべきと考えます。	中学校建設や大学設置において、先に設置・建設を既成事実化し（大学の調査等）、その前に市民の意見を聞くことがなかった。市民が必要としているものをきくことはなかった。住民に入って論戦してほしい。	教育民生	今後も市民の皆さまからの意見については、つなぐ会等において聴取し、議会審議の参考とさせていただきます。

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
<p>地区役員の年齢が 70 歳以上の人が 80%以上となっている。 後継者を探すのが大変である。推薦したいのですがどなたが住んでいるのかわることが少ない。</p>	<p>区会長に市民台帳があれば少しは解消できるのは。 各推薦事項に対して解りやすいパンフレットを作ってほしい。また、漫画的な解りやすい解説をお願いしたい。</p>		<p>総務</p>	
<p>・人口減少。 ・高齢化により区内でサポートする役員の減少。 ・行政に登録されている公的な役職員のなり手が少なくなり運営に支障をきたすのではないかと危惧する。 区の役員を希望する人も少なく欠員も生じている。定年退職の年齢も引き上げられ「地域づくり」に関心を持つ人も時間的な問題も含めて参加出来ない状態が加速する。 次世代に繋ぐメンバーをどうやっていくのかを考える時ではないかと思えます。その地域にどんな人が暮らしているのかを全体的に把握し、行政区で次世代メンバー候補を共有してその人に働きかけ等の行動をすることが必要と思えます。</p>	<p>各区の役員手当、公的な役職員の活動。その他の手当。条件も表示し、広く集めることが必要ではないでしょうか。 住民台帳を区の自治会長へ開示していただきたい。 自治会が関与する役職員の人員・任期等を一覧表にして提示していただきたい。</p>		<p>総務</p>	<p>ご意見として承りました。 なお、市から地域づくり組織へ依頼している役員の推薦にあたっては、分かりやすい依頼となっているか、また、自治会に過度な負担がかかる依頼となっていないかについて、常任委員会でも注視していきます。また、自治会における世帯名簿の取扱いについては令和 7 年度の重要課題である「持続可能な自治会活動支援」の進捗と併せ、検討状況の確認を行ってまいります。</p>
<p>・高齢者が増え、緊急避難時の支援をする人が確保できない。 ・避難支援者が事故等にあった場合の補償がない(地域支援者でない場合)</p>	<p>緊急避難時の補償と要支援者への市としての関わりを充実させてほしい。</p>	<p>この内容について議会で取り上げ、市としての対応を議論してほしい。</p>	<p>教育民生</p>	<p>令和 7 年 2 月予算審査のなかで、要支援者名簿掲載同意者は 880 名となっており、支援者が 464 名であり十分とは言えないと答弁がありました。 今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。</p>
<p>歩道橋(中野町 2 丁目と 3 丁目に架かる橋)の階段が老朽化。 階段がコンクリートで出来ているが劣化によりコンクリートの中に組み込まれている鉄筋が現れ転倒の危険性がある。</p>	<p>補修工事を行ってほしい。</p>		<p>産業環境</p>	<p>当局に確認しましたところ「ご意見のとおり階段のコンクリートが全体的に剥がれ落ちており、通行の支障となっているため、補修工事を進めていく」との回答がありました。</p>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
<p>新しい住宅地を作っているせいか、雨が多い時に雨水側溝があふれた。黒沢尻3丁目と黒沢尻4丁目の間の二子に行く道（細越線）</p>	<p>あふれない様にしてほしい</p>			
<p>・田んぼだったところが宅地化され、細い用水路が残っているところがある。今年（R6年）の大雨でそれらの用水路が溢れ床下浸水した地域もあった。また、小さな子供が草で隠れた用水路に落ちる危険性も含んでいる。 ・用白の排水が間に合わない内水氾濫の危険性を含んだ地域がある。</p>	<p>住宅地での用水路氾濫を防ぐための施策を行ってほしい。</p>		<p>産業環境</p>	<p>当局では令和7年度の重要課題として内水浸水対策の実施を取り上げており、令和6年度に浸水被害のあった排水区の雨水管理計画を策定し、計画的な内水浸水対策の実施を進めています。今回ご指摘のあった内水浸水箇所については、今後当常任委員会においても当局の対応を注視してまいります。</p>
<p>新たに作られた住宅地の道路交差点で一時停止の標識がないなどの理由で事故が発生している箇所が増えている。</p>	<p>住宅地での交通事故を防ぐ道路管理を行ってほしい。</p>	<p>この内容で困っている地域の声を集めて、議会で話し合ってください。</p>	<p>産業環境</p>	<p>具体的な事故発生箇所を把握されておりますことから、交通安全対策協議会へ一時停止等の道路標識設置についてご要望いただくことがスムーズと思われ（道路標識は公安委員会（警察）が整備するものとなっております）。いただいたご意見に関しましては、今後の当局の対応の際に注視してまいります。</p>
<p>街路樹について 道路や歩道に枯葉が落ちて汚く片付けるのが大変です。また、根がはり歩きづらくて危険である。</p>	<p>街路樹を切るか減らしてもらいたい。</p>		<p>産業環境</p>	<p>ご意見として承りました。令和7年3月の予算特別委員会分科会で、今後の街路樹の管理について質問しており、当局からは景観や緑の保存という観点と、道路の安全性の確保の両方を総合的に考え、地域と相談しながら管理を進めていく必要があると認識していると回答がありました。今後の当局の対応について引き続き注視してまいります。</p>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
駅東口にバスの発着が無く不便である。	高齢者が病院への便を		産業環境	ご意見として承りました。バス路線のルートについて、今後の委員会の調査・研究等の参考にさせていただきます。
駅東口にある交差点に信号機の設置を	駅東口にある交差点に信号機の設置を		産業環境 総務	当局では令和7年度岩手県との政策協議において、北上駅東口店前交差点に信号機の設置を要望しています。引き続き当局の対応状況について注視してまいります。
公園3か所の木が巨木化	公園3か所の木が巨木化しているため電線等に接触		産業環境	令和7年3月の予算特別委員会分科会で、公園内の樹木の管理について質問し、当局からは市内各地の公園で樹木の巨木化の相談を受けており、緊急性の高いものから順に対応している。道路にはみ出した枝は車両や歩行者の通行の妨げになることから、安全面を考慮し、枝落とし等を行い対応していると回答がありました。公園の樹木の管理については、引き続き今後の予算審査等の際の有力な視点として参考にさせていただきます。
地域除雪	地域除雪時の除雪車作業の道路幅の少ない部分の除雪		産業環境	ご意見として承りました。除雪に関しては市民、地域から多数のご要望が出ていることを把握しております。除雪のあり方について、今後も当局の対応を注視してまいります。

※その他の意見はP43～掲載しています。

【更木地区】

＜地域ヒアリング 意見＞

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
<p>更木幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度(R7)から募集が無くなる。 ・幼稚園の開園時間が8時30分と保育園より遅い。 ・本年度(R6)の在園児は3歳児1名、5歳児2名の3名。 ・昭和40年頃の建築であり古い。(耐震基準も未定) ・二子保育園の分校でいいから存続できないか。 	<p>二子保育園の分校でいいから存続できないか。</p>		教育民生	<p>ご意見ありがとうございます。令和7年度時点ですでに更木幼稚園が閉園となっていることから、常任委員会からの回答は致しかねますが、地域の状況について把握させていただきました。</p>
<p>更木小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の児童数は27名だが、令和10年には14名となり存続の心配。 ・更木の人口が1,000人を割り、若者が少なく児童数の減少が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校がなくなった場合の跡地の利用については、地域で考えることといわれているが、指導してもらいたい。 		教育民生	<p>他の事例で、東陵中学校が北上中学校と統合に伴い閉校となるため、条例改正の審査の際に、跡地利用については財産管理等の担当部である財務部において活用を検討をすると、当局より聞いております。</p> <p>ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>更木の里ふれあいセンター交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の交通ラッシュは工業団地に向かう自動車渋滞 	<ul style="list-style-type: none"> ・車線を増やしてほしい。(県道の為、県に要望して欲しい) ・信号時間・矢印信号等で、渋滞の緩和の方策 		産業環境	<p>当局では岩手県との政策協議において、北上東和線の歩道整備等及び花巻北上線の右折レーン設置を継続して要望しております。早期事業完成を目指し、引き続き要望することを当局に働きかけてまいりたいと思います。</p>

※その他の意見はP44～掲載しています。

【二子地区】

＜地域ヒアリング 意見＞

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・人件費の予算を増やして欲しい。職員は事務局長のみで、他はパート職員(6時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費の予算を増やして欲しい。職員は事務局長のみで、他はパート職員(6時間) 		総務	<p>令和7年度予算審査において当局からは、交流センター職員のモデル賃金を示し、人件費を増額したとの説明がありました。</p> <p>今後も交流センター職員の人件費が適正な価格となっているか、予算審査の際の有力な視点とさせていただきます。</p>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
・下水道のエリア拡大をお願いします。地区内で下水道が通る地区と通っていない地区が分散している。	・下水道のエリア拡大をお願いします。地区内で下水道が通る地区と通っていない地区が分散している。		産業環境	公共下水道の拡大については、公共の管があるところについては下水道管をつなぐことができるが、公共の管がない地区については補助金を交付し合併浄化槽の設置を推奨していく方針であることを、令和6年度に当局から説明がありました。ご意見として承り、今後の当局の対応を注視してまいります。
・交通量が増加しているため、安全対策は川原田南田線だけでなく、周辺道路の整備も必要である。(県道を含め)	・交通量が増加しているため、安全対策は川原田南田線だけでなく、周辺道路の整備も必要である。(県道を含め)		産業環境	ご意見として承りました。今後の予算・決算審査の際に参考にさせていただきます。

※その他の意見は P44～掲載しています。

【藤根地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
平和記念館について	・北上市で運営管理をして欲しい。 ・平和記念館の新築工事をして欲しい。		総務	令和7年度6月通常会議の一般質問において藤原常雄議員が北上平和記念展示館の市立化に向けた進捗について質問を行い、当局からは「戦争の記憶を次世代に引き継ぐため、市が資料を受け入れる方向で検討している。令和7年度中に受贈したのち、令和8年4月1日からの市立化に向けて準備を行う。」との答弁がありました。
体育館について	・後藤の工業団地に工場が増えてきているので、平等な開発の観点から、和賀町内への体育館が欲しい。		総務	和賀町への体育館建設については、R5.8月通常会議に和賀町の3自治協連名で「和賀町に新体育館建設を求める陳情書」が提出され、議会としての審査結果では、「旧和賀体育館が解体予定、旧藤根小学校講堂も市に返還することを考慮すると、和賀町の体育施設の減少が見込まれ、新たな体育館の建設が必要という陳情者の願意については理解できる。しかし、新たな体育館の建設は、すぐには実現が難しいものであり、地域の中でもう少し議論を深めて

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
				ほしいことから、趣旨採択となった経過があります。
道路整備	・近くに北上市の焼却施設があり、交通量が増えてきているのでそれに伴う道路整備も行って欲しい。(県道・市道とも)		産業環境	ご意見として承ります。後藤野工業団地周辺の道路整備については今後の予算審査等の際の視点として参考にさせていただきます。
農業 ・高齢化により、水路など車刈りに手が回らない。 ・クマ・イノシシなどに対する対策。	・農家の担い手不足及び農村環境の整備をして欲しい。		産業環境	当常任委員会において、農地の集約、農業の担い手不足について調査・研究しています。重要な課題であると捉えており、令和7度中に当局に対し政策提言を実施する予定です。引き続き調査・研究を行い、当局の対応についても注視してまいります。

※その他の意見は P47～掲載しています。

【和賀地区】

<地域ヒアリング 意見>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
和賀庁舎の活用	和賀庁舎の活用		総務	令和6年度決算審査において、委員から和賀庁舎の活用について質疑があり、当局からは「和賀庁舎の将来的な活用については検討はしていない。今後、インフラ資産マネジメントに関する基本計画を見直す中で、利用者数等の現状を加味して方向性を定めていく。」との答弁がありました。
地域おこし協力員の配置	地域おこし協力員の配置		総務	令和6年度9月通常会議の一般質問において千田優子議員から地域おこし協力隊制度についての質疑があり、当局からは「関係団体からは隊員に求める人物像の設定のほか、3年間の隊員活動終了後の定住、定着も含めた計画づくりが難しいとの声がある。定住、定着を前提としつつ、今後は隊員活動終了後の2地域居住やダブルワークなども想定して対応していきたい。また、ホームページ等で隊員の活動を広く市

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
				民の皆様にお知らせし、さらなる活用につなげてまいります。」との答弁がありました。
<p>自治会（自主防災会）活動のデジタル化推進について</p> <p>自治会（自主防災会）活動における担い手不足等の課題解決や事務負担の軽減を図るため、スマホによる地域交流アプリ（電子回覧板などの公式 LINE 等）を活用したデジタル化を検討しているが、デジタル化に対応できる人材の不足やデジタル化への抵抗（根強いアナログ化）等によりなかなか進まない状況である。</p> <p>（現況）</p> <p>役員会等の通知および自治会だより、地区民へのお知らせ等を紙媒体で作成し班長を通じて広報紙等の文書配布日に個別配付又は班回覧を行っているが、緊急性を要する場合は役員等への電話やメール・ショートメール、臨時の班回覧等で対応しており相当役員や班長に負担が生じている。</p>	<p>自治会のデジタル化に係る先進事例を研究のうえ効果と課題を整理し自治会役員等を対象とした研修会を開催してほしい。</p> <p>また、市が「自治会のデジタル化に関する指針」等を作成するほか、デジタル化の実施や運用に必要な経費の補助金を交付してほしい（パソコンやプリンター、タブレット端末等の機器及び付属品の購入費用、Wi-Fi ルーター等のネット環境開設のため必要となる機器購入費及びインターネット回線工事費など）</p>	<p>自治会（自主防災会）活動のデジタル化推進事業に向けた予算計上。</p>	<p>総務</p>	<p>議会として、市に対し、令和5年度「持続可能なコミュニティへの支援に関する提言」で、「情報共有ツールの活用」について提言を行いました。令和7年度の市の重要課題では「持続可能な自治会活動支援」を掲げ、自治会・地域づくり組織向け研修会の実施と自治会 DX 実験を行うこととし、自治会支援ツールの検討として LINE オープンチャットを活用した情報共有の実験を行うこととしていることから、その進捗及び結果について常任委員会でも注視していきます。</p>
<p>空き家対策について</p> <p>住居者が亡くなった空き家や住居者が転居して不在となっている空き家が増えており、防犯や衛生面、景観等の観点から管理に苦慮している。</p>	<p>傷みが進み倒壊の危険性がある空き家もあり、早急に現地確認のうえ状況を把握し所有者等に連絡するなど適正な管理又は解体等の指導、対応が必要である。</p>	<p>空き家対策に関する提言書の提出。</p>	<p>産業環境</p>	<p>ご意見ありがとうございます。所有者不在の空き家への対策について、今後の予算審査等の際の視点として参考にさせていただきます。また、当局への提言の候補として検討するよう、次期常任委員会（任期：令和8年度～9年度）へ引き継ぎます。</p>
<p>市道管理</p>	<p>市道田代線のガードロープが路面より低く効果が発揮されていない。20m下の和賀川への転落の危険があり、現状では車両同士のすれ違いができず通行にかなり支障が生じている。また同路線の発電所踏切の上下部分の路面には大量の腐葉土が溜まり、坂道でブレーキが利かず側溝に脱輪する車両も多い。ガードレールの延長等、道路維持管理費用の増大を望み早急な対応を希望する。</p>		<p>産業環境</p>	<p>当局に確認しましたところ「ご意見のとおり、現状のガードレールの設置高さが40cm程度と低くなっており、またその前後にはガードレールが設置済みであるため、その間をガードレールに更新するよう進めていく。また踏切手前の路肩の腐葉土についても、通行に支障となる部分の除去について、定期的実施していく」との回答がありました。</p>

意見内容	市に対応してほしいこと	議会に対応してほしいこと	担当委員会	回答
熊対策	不要になった空き家、果樹木の伐採助成		産業環境	令和7年3月の予算特別委員会分科会で、令和6年度から放任果樹の伐採や、管理の行き届いていない林ややぶの刈り払いを行っており、令和7年度も継続して実施していると説明がありました。当常任委員会としても引き続き当局の対応を注視してまいります。

※その他の意見は P46～掲載しています。

地域ヒアリング：その他の意見の掲載

以下のご意見については、つなぐ会のテーマ設定を検討するにあたり、地域の現状や市への課題意識をご共有頂いたものであると捉え、貴重なご意見として議会で共有させていただきました。頂いたご意見については今後の議会審議の参考とさせていただきます。

地区	意見
黒沢尻北	<p>洪水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政座談会でも報告したが、先日の大雨でも、地区内のいたるところで排水が処理しきれず、浸水のリスクが大きいことがわかった。
	<p>道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常盤台と上野町を結ぶ、JR東北本線と立体で交差する道路網の整備が必要。 ・ 子どもたちの通学路の安全確保にもつながる。 ・ 上野町にはスーパーもなく、市民の生活に不便。
	<p>旧4号線の横断ルートの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常盤台の真ん中を走る旧4号線は、横断ルートが、アピア北の押しボタン信号、常盤台簡易郵便局のところの押しボタン式信号しかないが、地区民は、危険であるにもかかわらず、交通車両の間を縫って、横断しているのが目立つ。 ・ 道路の東側にはアピアと東北銀行、西側には岩手銀行と信用金庫があり、信号はそれぞれの場所から離れているため、信号の場所以外を横断してしまう。 ・ 市政座談会では、押しボタン式信号の移設、増設は難しいとのことだったので、ジョリーパスタと松浦脳神経外科の間の市道と旧4号線で四差路としての信号設置をめざす。 ・ 地区にとって深刻な課題であり、地区で署名運動に取り組む考え。
	<p>地域の担い手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員、児童委員のなり手不足が深刻。来年11月の改選期に向けて、今から戦々恐々としている。 ・ 保健推進員も食改推進員も、公衆衛生指導員も、保護司も、なり手がいない。 ・ 見守りボランティアが少ない。やり方を考えなければならない。有償ボランティアのあり方検討も必要。
	<p>地域学校協働本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コーディネーター、図書推進員さんだった方をお願いし、2人一緒にとということで引き受けてもらったが、協働本部への学校からの協力要請が多岐にわたり、コーディネーターも、地域でも大変。
<p>子どもたちの意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年児童生徒と語る会を実施している。今年は、この地域の将来をテーマに語り合うこととしている。 ・ 黒北地区いたるところに横断旗を設置したが、これも、子どもたちの意見を受けて設置したもの。 ・ 子どもたちから、通学時の安全にかかる意見は多い。 	

地区	意見
黒沢尻北	地域計画の見直し ・計画見直しに向けて、12月3日に打ち合わせを予定。 ・子どもの意見をどうやって反映していくかが課題
	地域の安全を担う人材が出てこない。将来不安。広報やSNSなどを使い、人材を集めてほしい。
	東和線の道路の草刈りをしてほしい。県道であれば県に草刈を要望してほしい。
黒沢尻東	区の役員の担い手不足。役員を依頼すると断られる。
	担い手不足（役員、ボランティア、行事参加者）、地域役員の後任、地域活動への協力者が減少。市職員への地域行事参加呼びかけが必要。
	マンション等住民は自治会への関心が低い。まじわりも良くない。 様々な事業等を区内「かっぱ」情報でお知らせをしているが「月1回」。
	学校開放について、説明が無い。（令和7年度からシステムが変わるそうです。）
	市から自治協への依頼が多い（アンケート、研修会など）
黒沢尻西	避難所に指定されているが、東側非常口が階段となっているため、車椅子での避難ができないためスロープの設置を要望したが費用が約300万円かかるとのことで見送られた。とりあえず手すりを設置する方向で検討中。
	ある自治会では、世帯数の減少や人口減少に伴い、役員のなり手不足となっている。そのため長年役員をやっている人もいる。仕事を続けながらも、役員ができるよう、業務の見直しが必要である。
	セキュリティの費用がかかる。
	外国人や転入届を出していない人が増えてきており、ごみ処理の分別方法や搬入日がわからない人が増えてきており、ルールが守られていない。不動産会社等の協力をいただき入居時に最低限の説明が必要だ。
	駐車場が狭い。センター北側に小学校の空きスペースがあるが、利用させてほしい。
	同じような組織があるが、集約できないか。（例 防犯連絡会・防犯協会・防犯隊・交通指導隊等）
市からの依頼文章等、それぞれの担当課からくるが、ある程度日にちを集約して欲しい。	
立花	役員等(民生委員含む)の担い手不足 ・若者の地域からの転出と仕事上の多忙化 ・地域住民の高齢世帯の増加、要支援の独居老人の増加
	空き家の発生と、管理不足 ・防犯上の不安、心配
	地域内人口減少地域の耕作放棄地の増加 ・水田の雑草と雑木の繁茂、野生鳥獣の増殖
	生活道路等生活環境整備の遅れ ・緊急車両の通行困難 ・農業用水路への家庭雑排水の侵入による環境悪化が進行 ・大学設置より住環境整備が優先

地区	意見
飯豊	<p>街並みの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯豊は災害のリスクが低くのんびりしている。 ・企業の進出、工業団地の整備が進み、道路網が整備され、アパートが立ち並び、人口は維持しているが、こうした変化の中で住民の不安もある。 ・高速道路の東側はどんどん開発されるが、西側は取り残されている。
	<p>地域・自治会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新興住民は、町内会費を納めてくれない世帯が増えている。 ・PTAにも加入しない世帯もある。 ・コロナ禍も重なり、地域行事を実施しにくい、或いは、実施しても参加者が集まらなくなっている。地区運動会も、39自治会中10自治会は参加していない。 ・地域・自治会活動の担い手が高齢化し、現役世代、若い世代から担い手が出てこない。65才、70才まで現役世代となり、担い手がなかなか出てこない。 ・地域づくり組織、自治会が行政の下請けになっている。何事にもやらされ感がある。自治会にアンケートを行ったところ、地域行事はことごとくなくしてほしい回答が多かった。どうやったら、やりたい人が増えるのか。 ・保健推進員とか、自治会から選出する人材のなり手の確保が厳しくなっている。 ・地域活動の担い手は、どうやったらつくれるか。
	<p>地域の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全面にかかる声はあまり出ていない。 ・子ども110番の家が減っている。今年度、加除を行っている。 ・スクールバスの運行がなくなったところがあるらしい。
	<p>地域計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから、現計画を検証し、見直しを検討していく。
	<p>他地区での争議・賠償事件、自治協のみに責任を負わせるやり方では地域は続かない。</p>
二子	<p>役員のなり手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員を長年勤めている。8行政区13自治会 ・任期は概ね2年であるが上野地区は1年の任期であり毎年役員が変わる。
	<p>来年度は各種役員の改選時期となっている。(スポーツ推進員・交通指導員・防犯隊・民生委員・福祉委員等)現在欠員はない。スポーツ推進員については、地域から情報をいただき、自治協で本人の承諾を兼ねて推薦している。</p>
更木	<p>中山間問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間の補助金が来年度から無くなる事で、中山間にある圃場の管理に不安。 ・中山間の管理をする人がいない。 ・中山間の農地が荒れば、鳥獣による被害が増えるのではないかと心配。 ・中山間にある圃場を(株)さらきに作業してもらっているが、補助金がなくなれば、(株)さらきが撤退するのではないかと心配。

地区	意見
黒岩	(つなぐ会のテーマに関して) 地域計画の見直しと地域の活性化をテーマにはしたいが、アンケートの結果や自治組織の変化でどうなるか現状はわからない。地域には問題は山積している。
	地域づくり組織の担い手不足、役職の多さ
	地域交通の課題（運転手がない、使いにくい、北上中統合後の通学手段等）
	住民が地域活動に入りにくい
	NPO との連携がスムーズにいかない
	黒岩小グラウンドを地域でお祭りなどに活用したい。（資産経営課には要望をだしている） 市の公園として指定管理できないか。維持管理の問題もある。
	交流センターへの道が狭く、検診車が入りにくい
	通院時の民間駐車場代が高いので、利用補助や割引をしてほしい。（駅前クリニック）
口内	空き家問題 ・人口減少により空き家が増えてきている。 ・空き家が 10 年、20 年となれば、後継者もわからなくなる。 ・野生動物の温床になっているのではないか。
	耕作放棄地 ・農業者の人口が減って、耕作放棄地が増えてきている。 ・農業後継者がいない。 ・草刈り等の管理する人が減ってきていて困った。
	鳥獣対策 ・シカ、タヌキ、ハクビシンなどの獣が増えてきている。 ・電気柵の補助金はありがたいが、設置が大変で、しかもシカは飛び越えて侵入する。
	地域振興 ・キオクシアだけに多く予算がついているように見えるので、もう少し周りにも目を向けて欲しい。 ・自治協議会で職員募集をしても応募がない。
	稲瀬
舗装率が低い→市の道路基準に当てはまらない→最低基準→住みたい街にはなれない 市の道路基準評価の検討をすべき：道づくり事業も	
除雪→事業者 1 社→夕方になる→道づくり事業（幅員 4 m 以下）の道路は除雪の対象外！！ 問題→4 m 以上→見直すべき	
役員のなり手	
センター→施設管理/自治協事業→人件費底上げ必要→地域計画の見直し	
稲瀬はミニ市役所化している→専門委員会が機能充実→行政が手をかけられないところをに活動→「保健福祉委員会」市/社協/稲瀬地区と三段階	
乗り合タクシー→高い→上門岡～センター：200 円 センター～旧 JA さくら：100 円 旧 JA さくら～まち：100 円	

地区	意見
稲瀬	害獣被害→市に要望しても電気柵あるからと取り合わない→日本鹿・イノシシ・熊・サル・タヌキ
	地域課題→実現可能にするように→指定管理で自由にできるお金はなし
	照岡小学校跡地活用→地域で早めに決めて市に要望した→課長 市と専北生徒と協働協定を結ぶ（名古屋）→今年から 道の駅構想→江刺産直みてりと協働→推進委員会設置→農水省の補助金→県とも連携 * 玉山の産直では市がかなり関与
相去	一斉清掃等の行事について、市への提出物が同じ内容で複数部署に提出する必要があるため大変である。小さな無駄をなくすように業務の見直しをしてほしい。
	（つなぐ会のテーマに関して） 女性・若者・子育て世代が地域作りに入ってくるににくい現状がある。コミュニティスクールをもっと活発にしていきたいが、ニーズが見えない。 若い世代には「地域」という感覚が持ちにくい。北上市の課題や、自分の身の回りの困りごとを入り口に、制度を知ることができたり、意見を言える場として参加してもらい、地域計画や地域づくりにつなげていってはどうか。等の意見交換を行う。
	蓄電施設を建設する話が出ている。環境宣言とも照らし合わせながら検討していきたい
和賀	定年延長と併せ労働時間帯の分散化により自治会活動への時間が見いだせず、役員の後継者がいない。
	高齢者ひとり世帯やデイサービス通い者が亡くなると、生活しやすい都市部に転居し空き家が増え、近隣者が防犯（火災、盗難）に気を遣うこととなる。
	害獣による人や農地の被害が多い。（畑作物被害、畦畔の損壊、水稻被害、遭遇による恐怖心）
	人口減少、高齢化に伴い、地域づくり組織の担い手が不足
	高齢者ひとり世帯やデイサービス通い者が多くなり、様々な募金活動やPTA会費など班長としての集金業務が滞り自治会活動が危ぶまれている。生徒数が著しく減少したことにより、生徒保護者による集金活動ができない。そこで、学校の賛助会費を集めずとも相応分の必要経費分は市が負担してほしい
岩崎	防災について ・ 交流センターは高台にあり坂道が急すぎる。 ・ 高齢者、子どもが利用できない、市に要望したができないとの回答 ・ 防災訓練はアリバイ作り
	観光について ・ 温泉の営業を閉鎖
	地域の担い手 ・ 後継者がいない ・ 役員を決めるのに人がいない ・ 7行政区あるが再編成も考える（人口をみながら）
	道路の整備が追いついていない
	地域から女性がいなくなる、市外へ転出するのは女性が多い

地区	意見
藤根	地域活動 ・ 地区内の人口に偏りがあり、地域活動に協力・非協力の地区がある。 ・ 地区役員の成り手不足がある。
	ゴミ袋 ・ 他市に比べゴミ袋が高い。
	保険料 ・ 国民健康保険税が高い。
	道路の整備がなかなか追いついてくれない。

つなぐ会：その他意見の掲載

以下のご意見については、つなぐ会のワークショップにおいて付箋への意見記入や議員が聞き取りをしたものを、原文に沿って記載させていただいております。

(※常任委員会から回答を付した意見も重複して掲載させていただいております。)

貴重なご意見として議会で共有させていただくとともに、頂いたご意見については今後の議会審議の参考とさせていただきます。

【相去地区】テーマ：子ども・子育てについて

どんなものがあれば、こどもや子育て世代は元気になる？
<ul style="list-style-type: none">・遊び場の遊具不足を感じる・近くに遊び場がほしい（和賀川ふれあい広場やパル、hoKkoに行く）・昔は、雪が降れば、すべり台をつくり遊んでいた・公園に遊具が少ない・子どもが少なく子ども会の行事ができない。連合子ども会とかできないか・子ども会で集まる機会がなくなっており、地域で補助金を出している・ゲームに夢中で困っている。外遊びをさせたい・子ども中心社会にしていくために、子どもは何をやりたいのか・子どもが大好きな地域になっているか・子どもたちの意見を聞く・子育て中の保護者から意見を聞く・子どもとの関わりをまわりが遮断しているのではないか・近くの子どもに声をかけているか→登校の見守りをしていて、子どもは変わっていないのに、まわりが変わってしまったのではないか・犬を連れてわんわんパトロールでは、動物を介してコミュニケーションができる・自分で考えて行動するボランティア。まつりで自分で考えてモノを売る
地域でこんなことがあって助けられた、などの体験
<ul style="list-style-type: none">・小中学校の学習支援のボランティアに地域から手当が支払われる
こんなことなら自分も地域で関われそう
<ul style="list-style-type: none">・交通安全指導で、交差点等に立っていても、子どもが1人くらいしか通行しない実態・老人クラブとして、もち花づくりもなしにした・大きな声であいさつする子どもには、こちらも大声であいさつする・子どもたちと接する機会は、盆踊り会とふるさとまつり・子どもを預けたい親のニーズに応えたいが、預かることのリスクが心配・個人情報を守ることが過度になっていないか・個人情報の問題もあり、どこの子どもかもわからない
今の子育てやこどもたち、こんなことが大変そう
<ul style="list-style-type: none">・地域に子どもたちの姿が見えない。通学は親が送り迎え。休日も外で遊ぶ様子がない・通学中の生徒に挨拶しても返事がない・知らない人に声かけされても、気楽に応えられるようにならないか・コロナで学校での参観の機会が減った・ゲームに夢中で困っている。外遊びをさせたい・経済的な支援があればいい・自分を大事にする個人主義が台頭・子育て支援の充実・共助がないのではないか

- ・ 6年間1回も話さない子どもがいて、家庭に問題があったらしい
- ・ 共働き世帯が多く地域とのつながりが無い。ジジババがいるとつながりができる。まわりの支えがほしい
- ・ 地域で見守ることが重要。1人で抱えてしまっている

こどものこと、教育のこと、子育ての制度

- ・ 日香下、大谷地、土井地区のスクールバスの利用について、1～3年生が対象のため、4年生以上は親が学校まで送っていくが、兄弟がいる場合は、低学年生も一緒に送っていく現状。全員を乗車対象とできないか。
- ・ 通学路が遠い。1人で帰ってくるのは不安
- ・ 効果的な施策には相応の投資が必要
- ・ 子育てに関する情報が届いていない

その他（参加者からの意見、要望等）

- ・ 交流センター前～南側信号の渋滞解消
- ・ 飯豊町にできているマンモス工場はなにをつくっているところか
- ・ 道路改修予算の確保
- ・ 道路の横断歩道の白線を補修してほしい
- ・ 南部工業団地へ土井公民館の砂利道の舗装をお願いしたい（交通量が多く、傷みがひどい）
- ・ 道路幅員が4mしかなく、トラックが入らない
- ・ 種々の役員の選出がづらい
- ・ 自治会の担い手不足。市の委嘱役員を選出するのが大変
- ・ 地区役員決めが大変→なり手不足
- ・ 地域で役員のなり手がいない。定年延長によって担い手の高齢化、自治会に交わらない人もあり、いろんな役の人を探すのが厳しい。役をしぼれないか。民生委員は、福祉課に聞きに行ったが、なり手がない。市の回答もない。お願いするだけでは見つからない。誰もいなければ、自分がやるしかない。他の役職もみんなそう。そんなやり方はしこりが残る。
- ・ 選出しなければならぬ役員が多すぎるので、見直しを求めているが、見える形で変わっていない。今年度改選の役職が18ある。誰にお願いするか、これから考えないといけない。
- ・ 役員は持ち回りで誰でもできる仕事にすればやりやすくなるのではないか。交通と防犯を一緒にするとか、似たような仕事は集約できないか。民生委員は持ち回りでできるような仕事ではない
- ・ 定年が65とか70になりそれから地域の活動を始めるのも難しい
- ・ 民生委員は、以前の大変だったイメージがある。悪いイメージを払拭すればなり手もあるのではないか
- ・ 民生委員は守備範囲が広く、広いエリアでも担当世帯を1人で持たなければならない
- ・ 人口減少で役回りはもっと大変になる。役の集約が必要
- ・ 世代間の話し合いが不足している。スマホで解決できるのか
- ・ 近所の情報が来ない。つきあいが薄い
- ・ 酒類の空缶が一斉清掃で30～50本ぐらい毎回集まる。飲酒運転ではないか
- ・ 一斉清掃等の行事の市への提出物が同じ内容で2～3部署に提出するものがある。このような小さなムダをなくすように業務を見直してほしい
- ・ 他人の土地でも草刈り等できるよう、行政で対応してほしい
- ・ 荒れた土地にクマが出没しても、他人の土地では手が出せない
- ・ 水道管が大丈夫か心配
- ・ 市立大学設置は妥当性が×
- ・ 財政的に実現可能か？学生は集まるのか？
- ・ 工科大学にするのは、北上市にマッチしていると思う
- ・ 今、建物が関連する事業は軒並み予算が膨らむ傾向にある。事業予算がふくらむことを想定して進めなくてはいけない
- ・ 大学を卒業してから、就職できるような企業が地元にあるのか？
- ・ 優秀な教員を用意できるのか？学生が集まるかどうかは教員の質によると思う。
- ・ 大学自体の魅力も大事だが、学生によって魅力的な“街”がなければいけない。先を見据えたまちづくりが必要。

【黒沢尻北地区】テーマ：安心安全の地域づくり

意見①「地域の安全で心配なこと、危険を感じること」	意見②「意見①の現状をどうしたらいいか」	意見③「市、地域づくり組織に望むこと」
上野町三丁目の通学路の確保	道路を広くする	実際の利用者の意見の吸い上げ（小学生や中学生の署名活動）。子育て中の方たちの話をきいてほしい
上野町の跨線橋前後の歩行者と車の安全性		
クルマ社会が進み歩行者が危ない	安全歩行者通路の設定をする（東北本線東西通路、信号機の移設、横断マーク）。交通安全対策・教育の強化）	信号機の改善は、直接管轄の警察署とかけあう
ときわだい保育園から春日踏切への道路がせまい。クランクが危ない	家を動かして道路を広げる	
上野中通学路が車が多く危険を感じる	歩車分離の道路。歩道を整備	
児童の大きな道路の横断が危ない	見守り隊の配置、スクールバスの活用	地域計画見直し
福祉センター前の歩道橋が危険	STOPしてほしい	県にやってほしい
東和線の道路の草を刈ってほしい	草刈りをする	市が県に草刈り実施をしてもらう
アピア前への信号移設		押しボタンでない信号にしてはどうか
アピア前の交通状態	信号機設置、横断歩道を表示	
ジョイス前の交通安全対策	交通安全について、信号の移設と安全意識の向上	
福祉センター前の歩道橋が崩れ、危ない	要望状況を知りたい	県の土木に要望あげても、どこでどう止まっているのかわからない
除雪車が狭い交差点に雪をたくさん置いていく	雪を置いていく場所を変える	地域に雪の捨て場所があるといい
21 区内に冬期間、除雪車が入らない市道・私道がある。		
つつみ食堂から妙桃寺へ行く道が狭くて雪が降ると大変		
常盤台の妙桃寺脇の坂道が強い雨が降ると水があふれる		
豪雨時に水路氾濫。道路が 50 cm 程冠水	水路の排水系統を調査して整備してほしい	市に整備してほしい

意見①「地域の安全で心配なこと、危険を感じることに」	意見②「意見①の現状をどうしたらいいか」	意見③「市、地域づくり組織に望むこと」
集中豪雨が床上になるところは側溝の高さが問題		
ジョイスとアカデミーの間の道路の水害		
黒北高通りが北→南に向け坂になっており、雨が強く降ると川のようになる		
水害、都市型洪水	水路整備、暗渠。水害対策は国の補助とか予算をつけて排水路をつくる。側溝の整備	
空家の草木ぼうぼう、荒廃	空家のこと、誰に相談すればいいのかわかればいい	空家を市でリフォームして売却する
空家が増えて手入れがされずにいることが心配	空家対策の強化で市の対応を強くしてほしい	市で持ち主に連絡つけられなければ強制撤去
公園内の高木が枝折れ落下して危険	伐採してほしい	
水辺公園の整備をしてほしい	水辺公園を整備して、美しい公園にしてほしい	
新堰川の補修管理の徹底		
小中高生が放課後遊ぶ場所がない	児童館など子どもたちの居場所が必要	
急増する外国人との文化交流	外国人の方たちとお茶のみやクッキング教室で交流する	地区交流センター、hoKkoでの企画
地区の役員の担い手がない	地区の活動に対し市職員を配置してほしい	専門の市職員を配置
見守りボランティア少ない。やり方を考えないと	有償ボランティア？警備会社？	ボランティアのあり方検討。お金、責任
自治会で動く人が少ない	誘導で事故起こることがあるか→研修は自由参加	
見守りはボランティアだけでなく、無償でもいい？	ボランティアの責任どこまで→ボランティア保険？	
地域の安全を担う人材が出てこない。将来心配	人材確保難しい。腰をすえて議論しあい打開策を見つける。若い世代を外に出さない。外からつれてくる	人材を集めてほしい。広報、SNSなどを使い
役員のなり手不足（高齢化）		話し合いの場、きっかけづくり。地域の行事が減っている。
広報の配布で事故にあうかも		課題はすでに要望済。返答待ち

意見①「地域の安全で心配なこと、危険を感じることに」	意見②「意見①の現状をどうしたらいいか」	意見③「市、地域づくり組織に望むこと」
個人情報邪魔している。コミュニケーションとれない。家族構成がわからず自治会が困る。	個人情報の範囲を見直してほしい	
1人暮らし高齢者のくらしが心配	高齢者対応、通信連絡網構築	
ごみ処理問題、ごみを出しているのは小売店。	法改正し、業者が回収すれば良い。量り売りにすれば、ごみは減る	北欧に比較して、日本は市民に求めすぎる
その他（参加者からの意見、要望等）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長制度廃止、仕事減のためというが、国勢調査の調査員の推薦も頼まれた。仕事全然減らず、むしろ増えている。区長は、仕事量を提示したうえで市で募集してほしい。民生委員も見つからない。 ・ 重層的支援を社協に任せるのはなぜ？委託料何に使われているのか？ ・ 広報配布の外注はできないのか？ ・ 個人情報の運用を見直してほしい。自治会運営できない。 ・ 市全体が潤うようにした方が良い ・ まちなか以外は生活が大変である。買い物、交通 ・ 北上市は課題だらけ。解決してから ・ 首都圏での物産展で予算ついてない。工業系だけに力入れている。 ・ 観光に力を入れるべき。民俗村、夏油温泉、スキー場 ・ 市はPRがヘタ。すべてにおいて ・ 武道館駐車場無料化 ・ 議会・議員に市民が意見を言えるフォームなどがネット上にあってもよいのでは ・ 議員の報酬が高いのでは ・ ごみ袋が高い ・ アパートの住民のごみの出し方のルールが守られていない。本来はアパートが1事業所としてごみを出すべき。条例等できびしく取り組んでほしい。 ・ アパート住民で自治会に入らない人も多い（短期滞在者もいる）。その人たちのために地域住民が分別など行うのはおかしいのでは。広報も配らなくてよいとされているアパート住民分届き、配らない分は処分するよういわれた。広報の料金も税金。税金を無駄にしているのでは。 ・ 外国人の指導は事業者の義務にしてはどうか。 ・ 市立大学設置見直し。アカデミーはどうするの。 ・ 市立大学の話の中にアカデミーのことも考えて ・ ツインモールうまくいかないのに、大学建ててもうまくいかない ・ さくら野は大学には使えないのか ・ 大学設置は反対。賛成の人が自己資金で設置すべき。 		

【黒岩地区】テーマ：自分も子どもも、黒岩に住み続けたいと思えるには

	自助	共助	公助	その他	
空家	まわりの草刈り	草刈り	解体希望		
	市役所に相談		空き家バンクの活用を周知する		
	空家の把握		地主への連絡		
	日ごろの見守り。変化を見る		シカ・イノシシ対策		
	見栄えがよくない			黒岩の魅力を宣伝	
				罰金を課す	
農業の担い手	担い手を「あて」にするより自分でやってみてはいかが。米高騰しています	跡継ぎのいない田畑を個人ではなく地域で取り組む。	農機具代・資材代のサポート。		
	家庭菜園するのに教えてくれる人がいない。		農業機械のレンタル実現して！		
	田んぼがやれなくなったら誰が行う。				
	米の時代がやってきた。				
移動・買い物	自分で運転できるうちは問題なし。運転できなくなったら住めない？	あすくろ号の利便性があがるといい おに丸号バス停まででなく街中に行く日などあるといい	・おに丸号を週2回ではなくせめて3回にしてほしい ・できるだけ多く出してほしい	通院時の民間駐車場代が高いため、利用補助や割引をしてほしい（駅前クリニック）	
	車がなくなると買い物に行けない。	地域住民の間で乗り合いで病院や買い物に行く仕組みを作れないか（元気な高齢者が運転）	病院（済生会・中部）を山手線の内回り外回りのようにぐるぐる回ってほしい		
	病院に運転して行っても、検査すると運転しないでと言われ、困ることある（歩いて帰ってと言われた）		イトーヨーカ堂の移動スーパー（とくし丸）のようなものを、黒岩地内で巡回運行できないか	認知症の家族（介護）は思うようにでかけられない（買い物など）	
			モバイルクリニックの活用拡大。提携クリニックの拡大、PR強化		

	自助	共助	公助	その他
高齢者見守り・支援	ヘルプを発信する声に出す！！	見守り／安否確認／声かけ／話し相手	ヘルパーの人員を増やす	
	見守り	ふれあいデイサービスの月1回の集合行事に必ず声をかけて半ば強制的にさせているが、結構持続して楽しんでいる	病院行きのバス・タクシーのツールの充実	
	なんでもやってみる	手を貸す／口に出す／見守る	デイサービスなど施設無料活用	
	行動を妨げない	老人の足を考える	介護保険・訪問介護等々が高額であることから何とかならないのか	
	自分のことは自分でやる		防災ラジオのイメージで安否確認ができるシステムの周知を徹底して欲しい	
	挨拶／声かけ		訪問診療などわからない人もいる 最初にどこに相談すれば良いのか周知して欲しい	
	家族でやれるところまでやった結果、義母はその日まで自宅にて過ごせた			
その他（参加者からの意見、要望等）				
<ul style="list-style-type: none"> ・黒岩の魅力をどう発信していくか。昔、湯沢にはお湯が出たらしい。 ・キオクシアができて、黒岩からの景色も悪くなった。 ・黒岩のおいしいをいかした、アップルランドをつくる。 ・農業を子供達に継いで欲しいと言えない状況 ・農業が重要というが、兼業していると仕事以外の日は農作業となり休みがない, 自分の時間がない ・人口減少の川東はアパート等が少ない。農地転用しやすくしてはどうか。 ・ガンケ（立花から黒岩までの川沿いの県道の通称）の歩道を早く作ってください（子どもたちは命がけで通学している） ・スクールバスを使えるようにして欲しい。 ・ツインモールはどうなるのか。何か賑やかなものは入ってほしい。 ・市立大学の補正予算は通ったが、9月議会では進めていく方向になるのか ・大学はムダな感じ。岩大の研究室や富士大と連携したらいいのではないか。 ・大学は黒岩地区には直接関係ない。街なかだけが栄えればいいのか。 ・大学作るんだったら黒岩や川東に。アパートや病院もできるのでは。 ・大学は東陵中を活用できないのか 				

【飯豊地区】テーマ：子どもたちが安心して育つ地域を考えよう

意見①「子どもたち、子育てで心配なこと、安心なこと」	意見②「意見①の現状をどうしたらいいか」	意見③「市、地域づくり組織に望むこと」
PTA活動がなくなって、親子のつながりがなくなった。	コミュニティづくり。昔のやり方を改めてお手本にする。	市の職員・OBがもっと地域づくりに関われ。地域で老若男女が集えるイベントを（文化祭みたいな）。飯豊文化祭はイイネ。
PTAに入らない家庭があるのは意外。		
友達とうまく学んだり、遊んだりできているのかな。		
いじめとか、学校ではないか。		
いじめはあるのか、ないのか。		
スポーツ、文化面等子どもたちの活躍がめざましい。		
中学校の大規模改修、小学校の特別教室棟が新築され、安心した。		
小学生が学校に行くとき、車で送り迎え。これでいいのか。	通学路の安全確保のため、歩道を整備してもらいたい。	
親のしつけが心配。あいさつしない、ありがとうが言えない。（特に新しく越してきた家庭）	子どもより、親をしつける。地域であいさつをしてつながりをもつしかけ。	地域であいさつ運動の実施。
公園がなく、遊び場がない。		
子どもたちの遊び場が少ない。		
交通量が増加し、交通安全が心配。	交通安全教室を、今よりもっと取り組む。	歩道の白い線を塗り直してほしい。通学路の整備を優先しろ。
分館活動にて親子が一緒にあそぶ機会をつくっても、参加しない。		
「地域で子どもを育てる」とよく言われるが、安易なことではないと感じる。		ロールモデル地区をつくり、お手本にする。
給食をタダにして家計を助けてほしい。		
世代間交流の手がかりとして、きっかけづくりをどうするか	学童と地域の話し合いが必要と思います	責任者＝個人に責任を負わせないで。見守りサポート制度、お金の負担。

意見①「子どもたち、子育てで心配なこと、安心なこと」	意見②「意見①の現状をどうしたらいいか」	意見③「市、地域づくり組織に望むこと」
中学生のクラブ活動の在り方→地域クラブへの不安も→移動手 段	預かりボラの対象者の拡大	
通学路の安全確保（＝交通量の増加、トラック、不審者、熊情報、草やぶ、除雪）	学校へ地域の方の介入しやすく	
通学路の安全はどうか。成田地域に工場が多く、地域住民が心配しています。	先ず話し合う→コミュニケーション深める、集まる機会を作る（飲み会でもよい）	
自転車教室・安全教室＝時間・場所・教える人＝不足		
子供会参加しない、登校班に親が付き添わない？		
あいさつしない		
子どもが少ない		
地域の人とのあいさつ～知らない人と会話しない～いいのか？		
その他（参加者からの意見、要望等）		
<ul style="list-style-type: none"> ・農業をしている。もっと田んぼで米を作って欲しいが、やる人がいない。農家で、子どもを育てていけるか。軽費に対する支援も、法人でないと難しく、個人への支援がない。 ・この地区は、舗装率が低く、道路環境を良くしてほしい。市は、言わないと何もしない。 ・議員との話し合い必要によかった。今後も実施すべきです ・地域の道路整備に、みちづくり事業はいい事業だった。 ・区画整理が見送られ、平和台は虫食いの開発が進んでしまった。 ・太陽光発電の計画が出たときに、民地で景観資産だったら、何か対応策は可能か。 ・交通量調査は、休みの日にやっても意味がないのではないか。 ・ツインモールを買うことでいいのか。責任問題はどうなるのか。 ・ツインモールの問題が出て、大学どころではないのではないか。勢いがあつた長兵衛市長のときとは違う。いまは、大学は人集めに躍起になっている。 ・大学は、学生が集まらない。いらぬのではないか。街中の活性化にはなるが。 ・大学があれば良いと思うが、継続できるか。 ・税金投入して大学を建設しても、その後の大学の経費、維持費など運営できるのか。負の遺産にならないか。 ・大学設置は、地域住民に負担がかかるのではないか。他の事業に使える予算が低くなる。 		

【口内地区】テーマ：住みたいまち、住みよいまち口内を考えよう

テーマ1 口内暮らしの良さや誇れるものはなにか？
①農産物
<ul style="list-style-type: none">・農産物うまい、多い・リンゴはかつては「紅玉」は県内一を誇っており、70軒以上もの栽培農家があったが、現在は26軒にまで減少している。・口内のお米は美味しいと言われており「金札米」という名称も、旧口内村の時代から使用していたが、江刺に奪われてしまった。・きたかみ牛も日本一になった事があるが、JA花巻に統合してから縮小してしまった。
②郷土芸能
<ul style="list-style-type: none">・民俗芸能の種類が多い。鬼剣舞、鹿踊、神楽、太鼓、大名行列伝承されている・獅子踊りは市内で唯一、継続している。・甚句も旧口内村の時代からあったが、これも江刺甚句となって有名になったが、口内の方は廃れてしまった。
③自然
<ul style="list-style-type: none">・自然が多い・豊かな自然（虫のなき声、心地よい風）・静かさ・何も変わらないところ・自然や四季を肌や目で感じられるところ・田や畑がありある程度の自給自足ができる・星空・鹿やカメムシが多い。特に最近は鹿によるリンゴ被害が多い。・棚田で、バインダー稲刈りをしてハセがけをしていたら、黒岩から写真家が撮影しに来て、この風景を残して欲しいと言われた。 →棚田にしてもハセ掛けにしても、地形上コンバインも入れない為、仕方なくやってるだけなのに、外部の人は好きなことを言ってる。（口内地区は、ハセ掛けと棒掛け(ほによ)が交流センターを境に分かれている）
④人材
<ul style="list-style-type: none">・隣近所が顔見知り・子どもは居るが後継者となっていない。 →要因として次の点が考えられる。<ol style="list-style-type: none">a. 企業誘致により働く場が増え、農業収入より多い為、農業をしなくなった。（かつては、次男の為の工業団地整備だったが、長男の働く場となっている）b. 企業の給与が良いと、特に女性は自立できる為、結婚をせず、子どもも生まれにくい。c. 結婚して家を建てたいが、畑まで農業振興地域の指定となっており、その解除ができずに、他地区（例えば立花）に家を建てるため、農業も続かないし、人口も減る。
⑤その他
<ul style="list-style-type: none">・隣の家と離れているので、気にしないで音が出せる・肩ひじを張らず、生活できること・それ程他人を気にしなくてもいい・ひとりあたりの空気の量

テーマ2

テーマ1を守り、育んでいくために、自分自身ができること、地域社会や自治会で協力することは何か？

- ・きれいな自然→草取り・草取り機にもお金がかかる
- ・地域行事に極力参加する
- ・農場の基盤整理（棚田の草刈りは大変!!）
- ・コンビニ（支払い・宅急便）※若い人が暮らすためには
- ・地域も一緒に体験する機会
- ・行政、お金、予算を多く
- ・堅苦しくない居場所づくり
- ・民俗芸能の伝承と広い受け入れ体制
- ・「スマートシュリンク」を正面からとらえる
- ・自治協に積極的に参加する
- ・今の活動（NPO）をいつまで続けることができるか。
- ・町外の人に参加しやすいイベントをする。
- ・新しい魅力的な企画を地域外へ発信する
- ・草刈りや営農
- ・地区外からの協力者が必要。外国人でも良いかも。（現在は外国人は居ない）
- ・外部からの協力者も含めて人を育てる事が必要。
- ・自分でできる事は、体が動くあいだは、いつも通り朝起きて、生活していく事。

その他（参加者からの意見、要望等）

- ・やってほしいといったことが、どれだけ実現するの？
- ・自動の販売機もなくなってきた。飲み物も買いに行けない。
- ・川東に夢を！！格差が広がっている。
- ・集落支援員は何のため？その分の予算は地域にまわしてほしい。
- ・自治協で草刈り機を持つ？
- ・空家は増えているが、口内に移住者を呼び込みたくても、すぐに住める物件がない。今後空家になりそうな物件を含めて、人が住めるよう物件の管理をしてほしい。
- ・街なかに人口が密集し、工業団地に通勤するのに渋滞が発生している。工業団地までは口内から渋滞もなくスムーズに通勤できるらしい。口内への移住を促すため、市でアパートの整備はしてもらえないのか。
- ・地域でつながりの環境をサポートするしくみができないか。
- ・インフラ整備について、自治協から市に要望を出しているが、やってもらえない。冬場、凍結して危険な箇所ロードヒーティングを設置してほしいのに、なぜ、進まないのか。
- ・小学校跡地の活用について、自治協からの要望はどうなっているか。ボヤっとした内容しかきていない。
- ・ILCが誘致できれば、口内地区にも、ある程度恩恵があると期待している。
- ・大学は、東陵中学跡地に、八戸工大のサテライト校を誘致すれば良い。
（八戸工大の事務所が駅前に出来たのは、それを狙っているのではないのか）
→北上の高校生は、八戸工大より仙台の東北工大の方を選択している。

【岩崎地区】 テーマ：岩崎地域における学校のあり方を考えよう

テーマ1

未来を創る子どもたちにとって、より良い教育環境とは何か？

- ・ドメスティックに個々の状況に考慮し、多数の常識にとらわれない
- ・自由度
- ・子どもの個性が伸びるところ
- ・自分がやりたいことがやれる
- ・学ぶ機会が常に与えられている、いつでもアクセスできる
- ・地元のこと、日本のこと、世界のこと、現在も未来についても学べる学校
- ・自然環境が良い
- ・安心安全の確保
- ・子どもが心身ともに健康で過ごせる環境
- ・毎日学校に行きたいと思える学校
- ・みんな楽しく取り組める学校
- ・「学ぶこと」は「楽しい」と思わせる
- ・子どもの人数が多く賑わいのある学校
- ・思い出の数、出会いの数
- ・経験様々の多数できる
- ・地域住人の関心度を高める
- ・地域とのつながりを重視できる先生がいること
- ・地域の人たちの顔がみえる環境
- ・可能なら多世代同居
- ・普段は会うことができないような人や場所と会える
- ・心、身体、知識向上を目指すバランスのとれた教育環境
- ・ITに縛られない
- ・子ども同士で話し合いながら物事を決めていける
- ・調べたいことや地域のことを教えてくれる地域の大人がいる
- ・自己中心ではなく、他の人を想える心を育てる、道徳教育
- ・学校区境界の緩和
- ・親世代が地域行事に参加しなくなっている、子供が見ている
- ・子ども自身がやりたいこと学べる教育環境
- ・地域に根差した環境
- ・学年で区切る学びではなく、その子の能力に合わせることができる環境
- ・得意な部分を引き出す環境
- ・学校は地域を作る要であり、地域全体の参加型を要する
- ・育っている身近な地域で暮らしながらの生活環境で学ぶ
- ・地域の繋がりを経験しながら生活を学ぶことも大事な教育
- ・独自性・先進性・地域性
- ・地域格差がないように
- ・地区にあった思い
- ・選択の自由
- ・教員の質の向上
- ・家庭環境の安定
- ・子どもたちとの触れ合い

テーマ2

テーマ1を実現するために、課題となることは何か？

- ・「安心安全」←心の平安が乱れていないか見守る（親だけではなく）
- ・「安心安全」←学校自体の物理的な面の危機管理の強化、地域の協力体制確保
- ・自由←常識を疑え！
- ・基本をしっかり教える教育
- ・教師の任期が短い
- ・専門教師の招へい
- ・秀でた人たちを呼んで話を聞く、行って経験する
- ・学区に縛られている
- ・高齢化少子化をいかに克服できるのか
- ・人口減少（児童数）（地域住民）
- ・いじめの無い思いやりのある子どもを育てる環境をつくれるか？
- ・サラリーマン先生ではだめ！
- ・学校行事の簡略化
- ・教育のマニュアル化
- ・子どもたちを地域が見守る
- ・自分たちが住んでいる地域の勉強
- ・地域の人たちが学校行事・地域行事と一緒に
- ・地域（保護者）と先生との交流不足
- ・地域のつながり対策←「地域の人」は怖い人じゃないと思ってもらうこと
- ・多世代の良さを子どもと親と一緒に考える
- ・身内（家族）以外の子供たちへの無関心
- ・あなたのやりたいことは何と聞く、やらせてみる
- ・楽しく学校←できるを伸ばす
- ・世界→アジア→日本→東北→岩手→北上→岩崎をみんなで考えてみる
- ・教育者・指導者の分業制確率
- ・教育者の知識向上
- ・外国人との交流・ふれあい
- ・教育は学校まかせにしないで、地域の問題として協力しあう
- ・学校・家庭以外に繋がりがある
- ・小さい時からゲームよりも人と触れ合う、話をする
- ・大人が先回りしすぎてしまう（忙しい？時間をかけられない？）
- ・地域の行事や集まりに子どもも親も参加する（しやすくする）
- ・学校のカリキュラムが多すぎて道徳を学ぶ時間がない
- ・学校区の緩和について、地域住民の理解が得られるか
- ・親から地域のコミュニティに参加をして見せる
- ・小中一貫校（中学校区）
- ・少子化の現状で環境を整える難しさがある
- ・岩崎地区→和賀町地区として学校編成を（学区の撤廃）
- ・日本のルールに従う必要があり、北上市岩崎独自の教育ができない。公立→私立。
- ・子どもがいないのでアイデアが出せない
- ・地区の行事に積極的に参加させる
- ・地域の理解協力
- ・教員の待遇改善、勤務時間、給与
- ・カウンセラー設置、子供のメンタルケア予算付け
- ・地域の方々の参加意欲
- ・指導者の養成
- ・送迎等のフォロー
- ・保護者の理解
- ・子どもたちの話を聞く
- ・通学の要する親御さんの負担増
- ・地域の理解協力
- ・学校側の協力
- ・モデルは西和賀町！？

その他（参加者からの意見、要望等）

- ・市街地の空洞化の問題もあるが、周りの地域の人口減少で農地等が今後どうなっていくか不安に思っている
- ・熊との共生を考える
- ・団塊の世代が70～80代となりますが、買い物・医療等どうすればいいか不安に思っている
- ・介護職員のバックアップができないか
- ・モバイルクリニックのPRで使い方が良く分からない
- ・藤原議員、太田議員とのトークが楽しかった
- ・ワークショップの案「とりあえずやるか、やってみるべ」という返事（報告）が必要
- ・一度いわさき小学校に行きたいかというアンケートを市全体でやってみる
- ・学区に拘らず北上市立小中学校として配置、育成を図る
- ・高齢者の交通手段について将来的な不安がある。
- ・岩崎地域に対する市政が全く見えない。
- ・このままでいい。
- ・さくら野は新市役所
- ・新市役所予定地は合併した時の江釣子予定地→現市役所は売却し、マンション
- ・「一定の学校規模を確保することが重要」とした結論に疑問がある。もっと学校は様々な様態があって良い
- ・市立大学について→10年後・20年後の構想を伺いたい
- ・市立大、子供が減って定員割れする大学があるが、今後継続していけるのでしょうか



● お問い合わせ先 ●

北上市議会

〒024-8501 岩手県北上市芳町1-1

(電話) 代表：0197-64-2111 (内線 3262, 3263)

直通：0197-72-8232、8233

(FAX) 0197-64-2123

(メール) gikai@city.kitakami.iwate.jp



北上市議会ホームページ